臺灣日日新報 夕刊
三月十五日
夕刊定價一部金貳錢
發行兼編輯人 河村徹 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
東京支局 大阪支局 臺南支局 臺中支局 花蓮港支局

聯盟への絶緣狀は二十四日に提出

樞府の審査は兩三回で終り 廿二日可決を見ん

【東京十五日發電通】樞密院は八日よりの本會議を委員長として聯盟脱退に關する御諮詢案の審査委員會を開會することとなつたが、政府當局は右審査委員會は兩三回をもつて審査を完了し、御諮詢案は二十二日の定例本會議に緊急上程され即刻滿場一致をもつて可決されるに至るものと期待してゐる。從つて我國大正九年以來の聯盟外交の總決算たるべき、聯盟脱退通告文をゼネバ聯盟事務局に提出することになつてゐる。從つて御裁可を經たる後直ちに聯盟に對し絶緣狀の提出されるのは特別の支障なき限り二十四日となる豫想である

聯盟脱退の後と雖も平和的精神は變らず

外務省で聲明書の起草終る

【東京十五日發電通】政府は聯盟脱退通告文の提出と同時に聯盟脱退に關する帝國政府の聲明を中外に公表することに決定し、既に外務當局に於て聲明案の起草を終了したが、右聲明書に於ては既に聯盟脱退後における帝國の外交方針を闡明して列國の理解を求めるに努めてゐる聲明骨子は左の諸點である

一、帝國政府は聯盟脱退の已むなきに到りたるも、その平和的精神に於ては何等異る所なく列國と共に世界平和人類の幸福増進のため協力すべきことは言ふまでもない

一、國際聯盟に依り開催せらるべき軍縮會議其他文化的經濟的問題に關する平和事業に對しては非聯盟國として適切妥當なる協力を與ふるに吝かならざること

一、極東平和の確保に關しては素よりその責に任ずるの決意を有すると共に米國其他列國と協調してその實現に努むるの政策に關しては從來と何等異らざること

一、滿洲國に關しては飽くまで之を獨立國として承認せる所信に基き極東平和のため之が健全なる發達を援助すべく列國も滿洲國に對し好意と援助を與へ之を正式承認するの日の速かならんことを希望すること

一、支那國に對しては一日も速かに從前の如き善隣友好の關係を回復し同國の國內的整備に友誼的援助を與ふるの用意を有すると共に、同國が滿洲國の獨立を承認し日支滿三國間の關係を平和的に調整するの方途に出でんことを極めて希望してゐること

脱退後の處理

審査委員に配付さる

【東京十五日發電通】政府は「帝國政府の聯盟脱退通告に伴ふ各種案件處理方に關する件」につき過般來愼重研究を重ねた結果、前記委任統治に關する件を除き次の如き方針を決定、聯盟脱退通告御諮詢案の參考書類として樞府審査委員に配付した

第一、聯盟脱退通告後の帝國の聯盟總會及び理事會に於ける地位

聯盟脱退の通告は聯盟規約第一條三項の規定に基き二年の豫告を以て之をなすものなるを以て右二年の期間終了に至るまでは帝國は聯盟國としての權利を有し、且つその義務を負擔するものにして、從つて聯盟總會及び理事會にも引續き代表を出席せしむる筋合なるも、右は條文の解釋に止まり、從來の實際に徴するに脱退通告後は右通告國は聯盟の一切の政治的會議に代表を參加せしめざる慣例にして、右は政治上當然のことと認められ來れり、從つて帝國の脱退通告後は右理事會には事實上缺席する

第二、帝國の聯盟脱退通告後の聯盟分擔金の支拂

帝國の聯盟脱退通告後と雖も右通告の日より二年間は依然として聯盟國たるの地位を保有すること規約第一條三項の解釋上明らかなるを以て、右二年の期間滿了に至るまでは聯盟經費の分擔金を支拂ふの義務あり、之を前例に徴するもブラジルはその脱退通告後二年分の分擔金を完納せり、尙分擔額は日割計算を以てすること慣例なるを以て帝國の支拂ふべき額は假に昭和八年中に右通告をなすとせば昭和八年及昭和九年度分の全額と昭和十年度分中通告の日に該當する日までの日割に依る額とを合せたもの

第三、聯盟脱退通告後に於る聯盟事務局に勤務する日本人職員の地位

聯盟職員は事務總長が理事會の同意を以て任命するものにして聯盟との間に雇傭關係あるに留まり、その本國政府との間に何等直接の關係なし、又其本國が聯盟國たると非聯盟國たるとに依り何等差異あるものにあらず現に非聯盟國人たる米國人が聯盟職員として他の聯盟國人と同等の地位に於て執務し居れり、又聯盟職員は何れも一定の任期を有し任期中は理由なくして解任せられざるの權利を有す（唯自ら進んで辭職し得るは勿論なり）從つて本邦人たる職員は從

米は參加しても投票に加らず

實質的にはオブザーバー 初會合は十五日後

【ゼネバ十四日發聯合】米國務長官の名でドゥモンド氏に通告された米の回答は十四日午後三時ワシントンと同時にゼネバでも公表されたが、米が委員會の一員といふ資格でなく參加といふ形式で參加したのは二箇の理由によるものだ、即ち

一、非聯盟國は參加の資格なしといふ日本の法理論を無視出來なかつた事

二、諮問委員會の決議に拘束される時には國內的に憲法上の困難が發生する惧れがあるからである

【ゼネバ十四日發聯合】諮問委員會參加招請に對する米の回答は十四日午後三時發表されたが、その內容は米は參加するが非聯盟國なるが故に投票には參加せず、且つ決議案に拘束されることを認めないと云ふ趣旨で、問題となつてゐる武器禁輸問題等に拘束されるのは避ける肚と見られる、從つて米は實質的にオブザーバーとして參加するためであると云ひ、委員會の初會合は十五日後と見られてゐる

米國の參加回答

對極東政策も聲明

【ワシントン十四日發聯合】日支紛爭に關する國際聯盟の諮問委員會參加招請に關するアメリカ國務長官コルデル・ハル氏のドラモンド事務總長宛の回答は昨日手交されたが、その內容は左の如くである

アメリカは諮問委員會の提案又は勸告に付き獨自の判斷の權あるため委員會の一員としての職能を有する代表を任命するは適當にあらずと思惟せらる、併しその討議に參加するは有用なりと思惟しスイス駐箚公使ヒュー・ウイルソンに對し委員會參加の用意を爲すべき旨命ずると同時に投票權を求められた場合には投票權を保留すべき旨を命じた

聲明書を發表したがその內容左の如し

平和の促進は世界の一部に關するものと雖も世界各國の關心事でこの目的のための努力に參加するはアメリカ國民の過去、現在を通じて易らざるものであり諮問委員會參加を受諾したが投票權を保留する旨發表した、右は合衆國の獨自的判斷の權利及び自由を少しも害せぬ、國ら同委員會に出席すべき代表者は本國政府を拘束する如き如何なる行動をもとるを得ざるものである

紐育株式市場 十五日再開

【ニューヨーク十四日發聯合】去る三日來休業中のニューヨーク株式取引所は愈々十五日より立會を再開することになり十四日その旨發表された

臺灣總督府は 十萬七千圓

植民地追加豫算

【東京十五日發電通】十四日の閣議において決定した昭和八年度特別會計追加豫算の內植民地關係の分左の如し（單位千圓）

朝鮮總督府	八一五
臺灣總督府	一〇七
關東廳	一六〇
南洋廳	四八

で朝鮮各府は米穀統制法、酒精專賣法施行費、國際利子等、臺灣府は米穀統制法、酒精專賣法、臺灣專賣法施行費、關東廳は阿片專賣法施行費等可能新規施策費に充當するの經費である

ビール法案

米下院を通過

【ワシントン十四日發聯合】米下院は十三日に大統領が議會に送つた第三次教書に基いて作成提出された民主黨議員カレン氏のビール合法化法案は三百十六票對九十七の壓倒的多數を以つて可決、直ちに上院に廻付された、右ビール法案は現行のヴォルステッド禁酒法施法を改正し三・二パーセントの酒精を含むビールの醸造を許可しこれに課税して歳入増加を圖らんとするものである

山林會の總會

十八日に開催

社團法人臺灣山林會では十八日（土）午後一時から總督府二階會議室で第五回通常總會を開催して左記諸件を附議する

突擊隊の進入に佛國が抗議

條約干犯だとて

【ベルリン十四日發聯合】國粹社會黨突擊隊がヴェルサイユ條約第四十三條所定の非武裝地帶たるラインランドに進入し遂にストラスブルグの兵營を占據したため佛大使ポンセ氏は十四日ノイラート外相を訪ねはじめて突擊隊のストラスブルグ兵營占據はヴェルサイユ條約干犯に該當するとし正式抗議を提出した

武器の輸出禁止に米國も關心を持つ

駐米英國大使に回答

【ワシントン十四日發聯合】英政府は極東向け武器輸出禁止が列國の協同動作を得られない事を理由にその實際を決定發表したが、他方米政府の英の勸說に基き近く議會に對し大統領が如何なる國家に對しても武器の輸出禁止を宣言し得る權限を付與すべき立法手續きを要請する意向なる旨十四日英大使リンゼー氏に回答した

聯盟職員の國の脱退に依りその身分的地位に何等の影響を受くることなし（聯盟職員には國籍の制限なし）從つて帝國政府としては本邦人たる職員の進退に關しては各本人の自由に放任し何等の指示を與へざることとし、但し若し進んで辭職するものある時は極力救濟の途を講ずる方針にて進むことと致すべし

尙現に國際聯盟事務局員たる日本人左の如し

杉村陽太郎（特命全權公使、國際聯盟事務局次長、政治部長）
原田 健（外務事務官、政治部員）
土田 豐（情報部員）
大內 恒（外務省經防疫員、シンガポール管局次長）
加藤 源三（內務省防疫官、保健部員）
佐木 實一（聯盟情報部東京支局長）
今城 初子（政治部勤務）

右の外東京支局に勤務する下級職員數名あり

ホーロー看板
木山標記本店
大阪住吉區アベノ前町四
電話代表天王寺六五一

人事

▲藤村寬太氏（臺南州警務部長）▲坂口主税氏（臺中州警務部長）十四日出府（朝陽號）

▲近沼門三氏（修養團團長）十五日午後二時發吉野丸にて歸國

その日その日

○ 長城の總攻撃々で困惑らず熱の殘生が続けられてる、何處まで往生際の惡い支那なんだらう

○ 飛んで火に入る夏の蟲同然ではないか、況や「熱河奪回」なんて寢ぐ騷ぎも

○ 張學良の一派の重大化は一日滿軍をジラして北支へ撒り出させ、所謂干涉を目論むもの、猾いぞ

○ 蔣介石のやり口には毎も咒と云ふとかある、對熱河戰の如き張學良の熟知をゆくもの

○ デイリー・メール紙の熱河戰は聯盟が支那を狂喜させた爲めと云ふ

○ 春秋の筆法を以てすれば、平和保持の聯盟、却つて東洋平和を攪亂すだ、猶聯盟に大ウソあり

○ 米國の諮問委員會參加は條件付にオブザーバーと變る所なし

○ 曾つて米國の對日態度が變換したと見得しなはならぬ、米國が聯盟に對する好意はコレ以上に表明しやうがないのだ

○ 英國が日支への武器輸出禁止をアッサリと取消す、勝而より實利を重んずる國民性が出てゐる

○ 卒業はしたけれど……お目出度うと言はれたけれど……さて相も變らぬ就職難だ

○ 年度末近づき各官廳の整理沙汰に、籤られるもの、と戰々恐々、新らしい俸給令には減俸がある

○ 春はゆく、惜みは長い、凡てこれ人生のすがた

無絃琴

ゴルフ至盛の今日、愛好者の一人とも見られてゐる稲田殖產局長、昨今近所に住まつて居る武德會弓道の宿老諸氏に就て自宅で日置流の弓道に稽古して居て既に十曜とか日曜とかには八十射或は百射といふ騷ぎ振り▲之に就て同局長曰く「どうも日露後は支那に勸められたもののセイか少々氣に喰はぬ節が無いでもないが、外に好い道樂が無いから致し方がない▲始めてから二ケ月にしかならないので當は未だ餘程で好いんだが昨年はもう的で盡つて居る、陛下面前に力をこめて張を滿月の如くに引きしぼり

少年航空兵の死 (53)

桃井京次作
淺枝次朗畫

……へウと放した矢がツボリ圖星に中るとそれは～愉快なもので…」この弓が益々上手になつて來ると物の圖星を射る呼吸も會得されるかも知れぬ、まアせい〲勉强なさることだ。

早春に散る花（三）

第一線に配屬してゐた先任の中尉等は、前日午後本部からの電話の通達で、又は無電で、其日付け「任大尉令達」の辭令をもたらされた。さうして、その新任者中勤務に差支へ無い者は、其日正午までに本部へ參集して、陸田大佐以下に新任の挨拶を兼ねた會食をする、と言ふ次第も知らされたのだつた。

だが、その正午までに本部の食堂へ馳せ參じた新任大尉の數は、ほんの六七人だつた。

それ等の人々は、新らしい階級を肩につけて、爽爽と武勳に輝き元氣に談笑を鼓舞させたが、陸田大佐から問ひかけられても、當時を語るには言葉少く、それよりもその武功の蔭に戰歿した、上官や部下の上の悲哀を盡盈に且つ感歎に、稱へ述ふのだ。

まことに、行みある武士の面影と言ひたいが、短い時間で、しかも慌しい時間のうちに、切り上げられたのだつた。

陸田大佐が先に腕を上げて、一同どや〲廊下へ出ると、もう從さすがに戰時らしい緊張した姿勢にかたまつてそれ〲に散つた。

その中の三人。

——まあ、一寸俺の部屋に來いよと二人を導いて、事務所の廊つかを通り越した方へ案內したのは、加藤大尉だつた。

——然うか。

——よし行つてやる。

無遠慮を口々に現はして困いて行つたのは、生田大尉と瀬尾大尉だつた。

——やあお芽出度う。

——うむ、今後とも……

——お互ひさ、宜敷く。

親しい友らしく、三人は椅子を占めながら、手取早く言ひ交したあとは稍へ煙草ではあるが、互ひの將來を忍び合はなければならぬ戰地へ來てからの過去は、到底言ひ出したら、切りがないのだつた

——一別以來だつたが……

と、加藤大尉が主人役の口を切る。

——うむ、度々手紙ありがたう。

先週持たせた返事は、届いたらうな？容態は何うだい、貴公の部下の前の君？

生田大尉が尋ねた。

——それが、もう、いかんて。

——え？あの、生田かい。然うだらうなあ、あの怪我ぢや！

と瀬尾大尉が言ふ。此人は、生田少年が第○中隊附きに成つて以來、猛中隊長鈴方大尉の下に在つて、生田少年の上を先輩として相共に戰つて來たのである。しかも此の瀬尾大尉の知る限り、最初のはじめから、生田少年は那般無比な少年航空兵だつた。最後に、中隊長鈴方大尉が戰死し、兩名少尉が戰死した合戰に、彼れ生田少年は此の瀬尾大尉と相呼應して獅子奮迅の戰ひを開ひ、到頭十二機の敵を全滅させたが、その時、中隊へ還達した少年の身體は、蜂の巢の様に敵彈を受つてゐたのだつた。

少年の、それ等の武勇を、生田大尉もその都度、段々に聞き知つてはゐた。加藤大尉が逐一、既に上せて報道したからである。

要するに、此處に集まつて一服寛ろいだ三人の大尉は、いづれも生田少年にとつて、他人ではない。

暗然とする加藤大尉を慰めるやうに、瀬尾大尉は、また斯う言つた。

——うむ、併し、生田も、少年ながら日本男兒として、天晴れな武功を樹てたんだ。それは此の俺が昨日のやうに、此の眼で見て來たあれだけやれば本人も、たとへ茲で戰死しても、本望だと思ふ。

——いや、有難う。

と加藤大尉は、答へながら、生田大尉の眼の中へ、何うだ!!と言ふ誇りを送つた。瀬尾大尉は、肯ほ言つた。

——いや、有難うを言ふなら、それは生田に言ふのが本當だらう。彼れの部隊の中隊長だつた貴様が從來立派に指導したからこそだ

世界の家庭藥
メンソレータム

寒くても健やかに
暖くても朗らかに
メンソレータムの
快調は奏でる

萬事OK
肌あれ・けが・やけどで御座れみな可愛い、この看護婦の胸にあり、諸てを醫すこの一瓶萬事OKです。

定價 二十五錢、四十五錢、九十錢、一圓八十錢

特効
肌あれ、ひゞ、赤ぎれ、外傷一切、やけど頭痛、神經痛、痔疾、歯痛等々化粧下、鬚そり後の保健爽快

國府の對日方針は絕對に變更せず

聯盟採擇の報告書に從ふーと 羅文幹、各國に通告

【北平十四日發電通】外交部長羅文幹は英、米、佛その他各國に對し國民政府は北支政權を接收したるも對日方針は絕對變更せず、聯盟の採擇した報告書の命に從ふと通告した

三公使の意見を聽く

【北平十四日發電通】外交部長羅文幹は十三日午後十時すぎ英、米、佛三國公使を外交大樓に招き張學良下野の顛末、中央の北支政策[illegible]を說明して了解を求めたる上、三公使の意見を聽取した後十四日午前三時[illegible]保定に行き、同地で蔣介石、何應欽と午前十時から會議を開き[illegible]三公使と折衝せる結果を報告し[illegible]を爲した

羅文幹、何應欽に報告

【北平十四日發聯合】蔣介石は十四日朝保定で[illegible]と會見、日本政府の對支態度、國民の對日感情につき[illegible]を遂げた、[illegible]羅文幹は十四日午後七時北平に歸り直ちに何應欽と會見內容を報告した、これで南京政府今後の外交方針も確定したので[illegible]は十五日南京に行く筈

宋哲元軍が大擧逆襲

服部部隊苦戰に陷る 彈藥は旣に盡き果てて

【錦州十四日發電通】二日に亙り長城を確保し居る我兵に逆襲し來れる宋哲元軍は南方一里の線まで進撃し來り服部部隊各部隊は長城內より一齊射撃を爲しつつある敵に對し陣地を固め一歩も退かず目下激戰中である、敵は大軍を擁して押寄せつつあり、わが軍も相當困難な形勢に陷り居るが軍は依然長城を超ゆべからずとの命令に束縛されて長城の線に踏み止り悲憤の涙にむせびつつ敵に應戰してゐるが、その爲めわが死傷者を增加しつつある

【錦州十四日發聯合】喜峰口前面にある宋哲元軍は我軍が長城の線より出ざるを好機とし又復十四日夕喜峰口に向け大擧逆襲し來り目下彼我激戰中

【錦州十四日發聯合】敵は夜に入ると共に益々猛烈な砲火を浴せかけ續々大軍を送りつつあるので服部部隊は愈々苦戰に陷り彈藥缺乏のため肉彈戰に入らんとし形勢愈よ重大化して來た

王以哲軍は全滅

支那側の負傷兵病院に溢れ 通州の學校に收容

【北平十四日發電通】古北口で我軍に打ちのめされた王以哲軍と第二十五師の殘傷兵は續々後送され北平病院に收容しきれないものは通州の中學校と女學校に收容しつつあるが、諸兵の談に依ると王以哲軍の五分の四は戰死し、外は負傷し、殆ど全滅の狀態を見たと

湯玉麟の伜を學良が銃殺

順承府に誘き出して

【天津十四日發電通】湯玉麟の二男湯佐輔は熱河で師長以外十三師の[illegible]を率ゐ[illegible]の者を[illegible]てゐたが、熱河陷落するや北平に逃れ、張學良が上海に立つ前張學良順承王府に誘き出され銃殺された、又天津[illegible]の後天津公安局長の任にあり[illegible]我方に[illegible]た王一民は北後佐輔と[illegible]三十數回天津に[illegible]を[illegible]したこと[illegible]北平に[illegible]されてゐたが佐輔と同時に銃殺された

『辛いものを賣つて大儲』

平氣で語つた大塚「福島」廣東丸船長の話

【基隆電話】商船南支線就航船廣東丸が、六日安海からの歸途廈門沖で取押へられた[illegible]の[illegible]は十五日午前七時基隆に入港した[illegible]

大塚の[illegible]は前航の同船で[illegible]に[illegible]つて來たことが明かとなつた、大塚は上海經由で廈門に赴き、二人落ち合つた後三月一日基隆入港同船で[illegible]のまま兵捲に[illegible]したのである、同船は同船の船客名簿を調べて見ると一等船客中に本島地京[illegible]社員大阪[illegible]本籍地大阪[illegible]福島英一郎(二)と

便乘し

て廈門に渡り、二

記載さ

れてゐた、右につき[illegible]船長は語る

一二人とも支那[illegible]を[illegible]して大儲をやるんだと云つてゐたので私は多分[illegible]相手の砂糖の密輸だらうと[illegible]て見ると、イヤ辛いものですよと平氣で答へてゐました、別段自分等の仕事を特別に秘密にする風もなく、[illegible]のチャーター料が上つて困る等と[illegible]に

喋つて

ゐました、福島丸は二月二十八日まで四日間廈門周圍の[illegible]を得て港外に[illegible]れてゐたさうですが、支那[illegible]に[illegible]されてゐるやうな[illegible]は見えませんでした、色々後から[illegible]

けふ開所式を擧げた阿里山高山氣象觀測所

阿里山一萬尺の山上の高山氣象觀測所は[illegible]十五日午後三時から[illegible]長、西村臺北測候所長その他官民多數參列の下に[illegible]盛大な開所式が行はれた、同觀測所は[illegible]八千尺[illegible]富士山上の觀測所よりも低位に在るが年中[illegible]を觀測する點に於て[illegible]を[illegible]して居る(寫眞は高山氣象觀測所)

逆る赤誠

國防費に五千圓獻金

基隆の廣田幸平氏

基隆市[illegible]町三丁目[illegible]水產[illegible]株式會社[illegible]廣田幸平氏は十四日午前十時[illegible]と[illegible]ポンと大枚五千圓を國防獻金に投げ出した

一千圓

竹東郡の小公職員一同が

[illegible]

島內からの獻金は本島防備のために

近く獻金取扱委員會を設く

島民の國防獻金によつて飛行機を[illegible]になつて臺北軍部を[illegible]させたが、其後の國防獻金も[illegible]に[illegible]して[illegible]なされ、現在一萬五千圓に達してゐるが、一般國防獻金として取扱ふときは陸軍省に移管されてしまふので折角の本島防備のための獻金者の誠意に[illegible]ことに[illegible]があるので、臺灣軍では近く臺灣國防獻金取扱ひ委員會を設け委員長に參謀長、委員に各部長、高級參謀、高級副官、經理部長を[illegible]に[illegible]することとなるが、いて[illegible]を取扱ふことになり、獻金者の[illegible]に[illegible]ふべく[illegible]な兵器購入に充つることになり國防獻金取扱ひ委員會を開いて獻金者の意思に副ふべく[illegible]では[illegible]してゐる

第二高女から慰問の學藝品

として[illegible]「どうぞ御使用下さい」と手紙をとつて來た更に又同日臺北第二高女では滿洲の兵隊さんを慰問すべく[illegible]問の學藝品を[illegible]に詰めて持込んだが、軍部では重ね〴〵の島民の赤誠に[illegible]してゐる

八勝隊で海洋飛行

飛行八聯隊で十九日より二十四日まで六日間海洋飛行演習が[illegible]されるが從事員は(操縱)大西、內山兩中尉、[illegible]原兩少尉、高田、[illegible]曹長、(同乘偵察)[illegible]中尉、[illegible]で八八式輕爆撃機二機を用ゐ[illegible]南[illegible]方面に[illegible]飛行するのである

果然、怪死事件 他殺と判明

潛伏中の犯人捕はる

既報臺北市日新町二丁目[illegible]に於て市內大稻埕町の一六二林[illegible](もも)が二階から[illegible]死した[illegible]に關し臺北醫專で解剖の結果、死因は前に外傷を受けた形跡明したので、飛なる自己の過失による[illegible]でなし[illegible]に加害者が

潛伏し

てゐるものと[illegible]臺北署では十四日夜[illegible]した結果、市內太平町一の六九[illegible]を[illegible]の加害によるが判明した、即ち十三日夜加害者[illegible]に[illegible]り合せてゐた所、[illegible]に[illegible]解し切つた[illegible]が何の[illegible]を[illegible]いて

亂暴を

働くので大いに怒り、二十分間に亙つて林を[illegible]に[illegible]き落したもので[illegible]あるとの事で、[illegible]するや北署[illegible]は[illegible]十四日午後十一時半臺北市內[illegible]に潛伏中を逮捕した

中壢の放火 犯人は狂人か

【新竹電話】既報中壢の放火犯人は中壢郡[illegible]が[illegible]らしく目下取調べ中

本島人老鰻に 邦人警官射殺さる

厦門で逮捕に行つて

【廈門電話】去る十一日後[illegible]門の我[illegible]は[illegible]の[illegible]部長野上近見氏(三七)が本島人老鰻のため射殺されたとの[illegible]が十五日朝基隆入港の[illegible]丸で齎された、[illegible]王[illegible]を殺害[illegible]した犯人臺北市生れ[illegible]陳(二七)が廈門市內に

舞戻り

[illegible]の支那人陳某方に潛伏してゐることを野上部長が探知、同日午後八時頃部下の鄭、[illegible]兩本島人巡査を連れて搜査に赴き、屋內に踏込んで中

待構へ

てゐた[illegible]前を[illegible]してしまつたが、[illegible]丈な野上部長は直ちに[illegible]を[illegible]つてから入口で分[illegible]へ報告に駈けつけんとする途中[illegible]に[illegible]れてしまつたのである、[illegible]により小川本署長及び[illegible]

[illegible]支那公安隊及び支那陸戰隊の[illegible]を求めて[illegible]を[illegible]中

徘徊中

の犯人陳を[illegible]陸戰隊が發見、ピストルで打合ひをやつた後[illegible]に[illegible]したのである、野上部長の[illegible]は十三日[illegible]の[illegible]の下に[illegible]行はれたが、同氏の勇敢な行爲は各方面から[illegible]されて居る、同部長の家には夫人及び十歲を頭に三人の子供があると

老鰻に恐しい新例

親分が二度目の開導所送り

臺北州文山郡[illegible]內[illegible]四二張名陳(三)=臺北市下奎府町四の六[illegible]八二張名(三)といふ二人の老鰻の親分が十四日朝臺北州から臺東の開導所に送られた「開導所送」と云へば老鰻仲間の最も恐れてゐることだが、彼等は一度

開導所

へ行けばもう再び送られるやうなことはないと皆へてゐるそれを張名陳が二度目の開導所送りとなつたので彼等には手痛い新例が作られたわけである

張名陳は大正十二年十月に[illegible]業取締を受けて昭和四年五月[illegible]まで三年間の服役に服し、六年七月に開導所を出たが、以來文山郡[illegible]の無頼漢を集めて親分となり[illegible]賭博、金品強請、婦女誘拐、[illegible]行爲を

常習と

し元臺北州[illegible]を[illegible]したこともあつた、前

張名陳は[illegible]三犯の男である、張佐は大稻埕[illegible]を[illegible]脅迫に乘達、新竹、臺中等に亙つて[illegible]行をなし昭和六年九月に[illegible]を受けたが常に[illegible]の[illegible]に[illegible]び、[illegible]新富町、有明町、入船町等にて[illegible]常に[illegible]ありて前科三犯の男である

十二年の小作契約

淡水郡三芝庄で

本島に於ける小作契約期間は[illegible]長期は六年とされてゐるが臺北州淡水郡三芝庄では[illegible]十五日[illegible]小作人約七十名が[illegible]で[illegible]式契約について[illegible]したが十二年といふ長期の契約が[illegible]に成立し本島の小作史上に新記錄を作つた十二年の長期とした[illegible]は[illegible]はじめ各種の[illegible]作物がとれないが

陸軍省吏に二萬圓を贈る

三陸の陸軍關係罹災民に

【東京十五日發本社特電】陸軍省では三陸震災につき出征兵士家族の罹災者に一萬圓を贈つたより[illegible]陸軍關係罹災民は意外に多いので更に二萬圓を[illegible]

防潮堤を作るには富士を[illegible]て行かねばならず多額の經費が掛かるので[illegible]六年やそこらで地主が[illegible]小作地を取上げられては引合はぬので十二年とした譯で地主から[illegible]は[illegible]一同に付二十錢を[illegible]することを申合せた

お手々をつなぐ 日滿の少年少女

近く協會創立總會

【東京十五日發本社特電】日滿兩國の健全なる成長と日滿兩國の[illegible]なる協同とを[illegible]し、將來兩國の[illegible]を[illegible]に[illegible]ふべき彼我兩國少年少女の相互理解と[illegible]的融合を[illegible]るため[illegible]、[illegible]、[illegible]等を網羅し日滿少年少女協會なるものが

設立さ

れ十三日午後五時三十分から一ツ橋[illegible]會館に第一回創立委員會を開催、設立趣意書及び協會規約草案を決定、近く創立大會を開催すると共に[illegible]活動に入ることを申合はせた、[illegible]運動としては兩國少年少女に對する[illegible]、[illegible]、[illegible]等の會、[illegible]の交換其他で之等の

事業を

なすため少年部、少年部は日滿兩國の男女中等學校生徒を目標と

して[illegible]

婦人子供博 十七日開場

【東京十五日發本社特電】[illegible]の春に[illegible]へる[illegible]婦人子供博覽會は[illegible]の準備を[illegible]へ愈よ來る十七日[illegible]久邇宮大[illegible]下の台臨を仰ぎ、華やかに開場式を擧行することとなつたが、昭和四年の平和博以來久し振りの[illegible]博覽會とて[illegible]官者を初め各方面の期待を[illegible]めてゐる、從來の博覽會が稍もすれば各府縣物產の[illegible]なる陳列場と云つた傾きあつたに比し、婦人子供博は[illegible]的から[illegible]的の新時代的效果を狙つて興味百パーセントであると當事者は語つてゐる、今期中の催し物も連日に亙り興味[illegible]な[illegible]を[illegible]らすことになつてゐる

卒業式

臺北工業

臺北工業學校第十九回卒業式は十五日午前九時から[illegible]臺北州知事、[illegible]、[illegible]局長、[illegible]校長、[illegible]、[illegible]校長、[illegible]等[illegible]の下に擧行、卒業生本科九十八名、[illegible]科二十七名、合計[illegible]名に卒業證書を授與し[illegible]校長の告辭、[illegible]

本[illegible]は[illegible]の[illegible]があり、午前十時閉式した本年の受賞者は左の通り

△北[illegible]△[illegible]

商工學校

臺北商工學校の第十四回卒業式は十五日午前十時から同校講堂で擧行[illegible]、[illegible]決定し昨年よりも好成績を[illegible]してゐる

[illegible]長、[illegible]代理[illegible]長の[illegible]があり[illegible]卒業生[illegible]名、[illegible]名に卒業證書を授與、次いで[illegible]長の[illegible]、[illegible]長の告辭[illegible]以上十一時閉式した、同商工の本年の卒業生中就職の決定せるものは[illegible]

けふ新竹高女の卒業式

【新竹電話】新竹高女の卒業式は十五日午前九時から知事、市尹初め多數官民出席の下に擧行されたが卒業生は本科八十一名、補習科三十六名で[illegible]

臺北幼稚園の修了式

臺北幼稚園の第三十五回保育修了證書授與式は十五日午前十時より擧行された同園の本年度修了兒に保育證書を授與し後[illegible]なる訓辭を與へて[illegible]

熱河討伐の映畫を公開

本社の主催で

日時 十六日午後七時より(雨天順延)
場所 新公園廣場
映畫 昭和八年臺北に於ける陸軍記念日の光景
熱河大討伐實況
其他喜活劇數卷

釋放者保護事業講演會

臺北州[illegible]では[illegible]釋放者保護事業講演會を開催することとなつた△十六日午後七時より[illegible]校にて△十七日午後七時より[illegible]公會にて△十八日同上[illegible]にて

王野課長內地へ

王野[illegible]課長は十五日の[illegible]丸で內地に出張[illegible]の[illegible]に[illegible]

郡部長東部視察

【新竹】新竹州內務部長郡部長は[illegible]の他地方行政視察の為[illegible]と共に十五日午前[illegible]

松本課長新竹へ

【新竹】松本[illegible]課長は十六日[illegible]

淡廬書會

[illegible]

手を切斷さる

[illegible]

大和丸より

[illegible]

天氣概況(十五日)

本島は全島快晴にして[illegible]

◆天氣豫報(十六日)

一區(北部)	北西の和風晴後曇
二區(東部)	南西の和風晴後曇
三區(西部)	北の和風晴
臺北地方	北西の和風晴後曇

商況(十五日)

(十六日)基隆 淡水 滿潮 干潮

米況

正米市況(前場)

▲二期蓬萊米 富限 七、四〇 中限 七、四〇 先限 不申

▲二期在來米 富限 六、八九 中限 六、九三 先限 不申

[illegible]

大阪期米

[illegible]

株況

東京期米 [illegible]

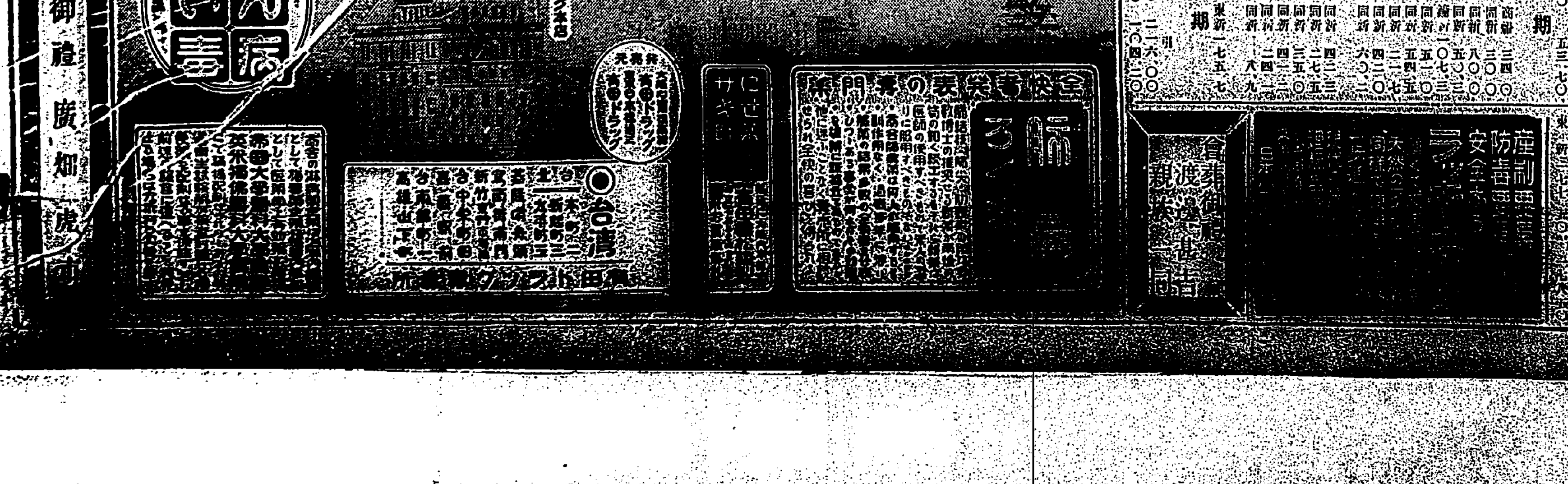
神戶期米 [illegible]

東京短期 [illegible]

東京長期 [illegible]

大阪短期 [illegible]

大阪長期 [illegible]



（第三種郵便物認可）

續殘月譜 (140)

志乃田廸司作
清水三重三畫

女人類像（八）

呆れはてたのは哉篤上人であつた。

面相、平方の中村番士迄も、盃を取り落さんばかりだ。

何時斯に、女房の前へ手をついて不動様のやうになる奴があるか。

何處の國に、亭主の前に據立になつて、その亭主を呼び捨てにする奴があらうか。

哉篤上人、いつの間にか正座して居た。

いや、中村番士迄、四角に坐つた。

龍宮で見た、あの神女の天女、これは亦、無言の何と云ふ嚴肅さであらう。

「誠三！しばらくでしたね」

「へツ」

誠三は、畳に、額をすりつけ、三つ位頭を下げた。

「妹！許べよ！お前は、立派になつた！」

と、心の中で、ありし日のやうに、妹お蝶に、對して云ふ言葉に、誠三は叫ぐまざるを得なかつた。さう云ふ誠三を、哉篤上人は莫つと見て居つたのだつた。

いや、そろり、そろり、膝を進ませて、相手になつて居るのだつた。二人の中村番士も、盃が置いて手を持たく、口が、きけない有様だ。

「ぐしゆう」

と云ふ音がした。おてるさまの、何か思つたか、泣き込みあつた。

誠三も、鼻をつまらせた。

思ひく、人生行路か、一には、奇縁、と云つたものであらうか。

ただ、行儀の手をのみが、障子一歩、一歩、閉ぢうくりと行く。

「無事で…！」

「へい」

「お前」

と云ふ、おてるさまの声が、ぴーんと響いて、沈默の部屋一杯に響く。

「あなたさまも、御無事で…！」

「あい」

優しい返事だつたが、其處に無限の哀愁があつた。

誠三の心に、伊之助のことが思ひ出された。

それを追つかけ躍した、おてるさまの聲！

顔を擧げると、おてるさまは、障子を見て、立ち盡して居るのである。

「さうと、さうだ」

誠三は、まだ、伊之助の心が、すこしも、おてるさまに、なびかないのを見て取つた。

何と云ふ哀い話であらう。

何と云ふ哀い、伊之助の、つれない心であらう。

しかし、さう思ふと、同時に、誠三には、亡き妹が思出された。

懐しかつた妹、伊之助の姿！

その面影を眼にたたんで、かうして、こんな伊之助の、眞に美しい人を前にしても、伊之助の心が、又、嬉しかつた。

おてるさまは歩き出した。

誠三は、無言で、身を寄せる。

一同の眼が、おてるさまの姿を追つた。

おてるさまの手が、障子の桟に触れやうとした。

「うむ」

と哉篤上人が唸つた。

膝をのり出した。

「お待下され！」

太い、しかし、[illegible]上人の聲が、重く部屋を這つた。

公開欄

本欄は讀者の自由投書中の一行數は十五字以内▲六十行以内▲住所氏名は別に記入の事▲取捨は係にあり

いも蔓式の依怙ひいき

馬渡山人

同窓生を、親類を、或ひは親戚を他人以上に親み近け、之が爲めに助力惜しまぬが如き行爲を俗に「イモヅル」式と呼んでゐる。全く素性も知らず、風聞をも異にする無知の人以上に好感を持易いのは蓋し人間の情であらう。又此の心情を押しひろげてこそ郷土を愛し、祖國を愛し、以つて國家統一、團結も[illegible]非常時ト雖も大盤石の重みを以て列國に對し得る要因ともなるのではあるまいか。然るに、ものには限度がある。[illegible]す若干の水も度を過ぐれば洪水となりて大害を及ぼし、良藥も度を過ごせば却て毒となる。[illegible]使用を誤れば效果なく、[illegible]は今更ら喋々を要しない。「イモヅル」式や又斯の如し、此處に[illegible]心を持して努力の限りを盡してゐるAと、文字通り[illegible]賢なるBとがある。Bは[illegible]され、Aは反對に冷遇される。第三者の評人でも同情に堪へぬ、苟しくも人の上に立つ[illegible]公明正大な寛大なる精神の持合せなきが如き[illegible]非ず、殊らば斯る事何に[illegible]するや、一家何に[illegible]「イモヅル」式

抱情の支配もだし難く、且又同郷學と[illegible]「イモヅル」抱情に拘泥するが如き、其の一因ではあるまいか、斯る情に捉られて事を律するが如き無定則に終始せんか、其の宜しきを得ば一致團結の要因ともなるべきに、寧ろ却つて仇視するには至らずとも、不和[illegible]の素因を醸成するが如き其の例證からず、又「イモヅル」式を[illegible]所謂に於ては、[illegible]能率に至大の影響を及ぼすき、[illegible]今日の時代精神にして、[illegible]を[illegible]の[illegible]に[illegible]れてか、[illegible]

「イモヅル式」[illegible]ある[illegible]他の[illegible]の[illegible]に至大の影響を及ぼしつつあるを[illegible]一考を煩はす所以である。以上

水ぬるむ□□□

日活キネマ時代劇映畫『江戸裟娑頭巾』の一場面（[illegible]と[illegible]）

議會風景

公民教育資料に映畫で紹介
文部省の試み

文部省社會教育局では[illegible]より公民教育の資料に各方面の[illegible]を蒐集しつつあるが、[illegible]べきものは非常時議會[illegible]フィルムに収めて一般に紹介するものである。[illegible]この劇場方面に[illegible]いだ[illegible]た議會の事[illegible]惜氣[illegible]

情[illegible]フィルムにされてては[illegible]から[illegible]るといふので容易に許可しなかつたが、廿三億三千餘萬圓といふ未曾有の[illegible]するといふ日を選んで、[illegible]可されたので[illegible]成し、近く公開される事になつた

演劇興行に對する課税除外例撤廢
改正法律案提出さる

現行營業收益税法は[illegible]と特別精神を[illegible]が多分にあつたので大正十五年改正を[illegible]行ふ[illegible]主義に基き公正なる[illegible]と、このであるが[illegible]は除外例として[illegible]より除去された[illegible]課税されてゐる[illegible]るとして[illegible]止が興行界に[illegible]友倉木[illegible]夫氏等から[illegible]税法中改正法律案が提出されその成否[illegible]即ち[illegible]共に[illegible]税の[illegible]めに[illegible]に課税したのが新税は一切の[illegible]法人に[illegible]然るに演劇興行のみは明治十一年

太政官布告により[illegible]定されたのを理由に除外例とされてゐるがこれは[illegible]るのみでなく[illegible]に[illegible]

△日[illegible]あり[illegible]
△[illegible]
△[illegible]
◎[illegible]

(評) 時事吟として一[illegible]あり
◇まして二人にや惱みの春を送うてよいやら悪いやら　如狂

ルネ・クレール
世界を醉はす
パリの映畫『巴里祭』

今シーズンを飾る白眉篇として多大の期待を懸けられてゐるルネ・クレールの大作「巴里祭」は佛國西第一の祭日七月十四日の革命祭を題材としたものだが、これは六十年前三度目の共和制となつた時制定されたもので、歐州大戦後特に盛大に行はれるやうになり、同[illegible]

『巴里祭』に醉ふ制服の處女達

大戦[illegible]

『巴里祭』の歌
圓板に乘る

[illegible]

名家敗退將棋（七八）
（山北氏一回勝二人目）

左香落　六段　△山北孫三郎
先　四段　▲鈴木禎一

	一	二	三	四	五	六	七	八	九
一	馬	桂							香
二	と		王						
三			金	金					
四				銀		桂			
五									
六	歩	香	歩						
七	香	歩		歩		歩			
八		玉	金	銀					
九	香	桂					飛		

[illegible]

曾我廼家蝶樂一座の全島巡業

曾我廼家蝶樂一座は[illegible]月末[illegible]することになつてゐたが木島に[illegible]興行の手により十六日より約一ケ月の豫定で全島を巡業することに決定された

臺日案内

書籍　全集並學術書高價買入
醫院　小林醫院
寫眞　X光線フィルム
パテーバンクロ
カメラ交換仲介
製靴商　ヒコウ運動靴
藥種商　月やく
シミヌキベンヂン
養命酒
祝萬年筆
紙文房具
内地土産　剝製　生蕃屋本店
料理屋　四五三九
銀鳥
雜件　洋服ダンス
黒燒　石崎黒燒店

●速戰速決！○○戦争はこれだ！頭痛に對するノーシンも亦速戦速決だ！而も絶体だ●

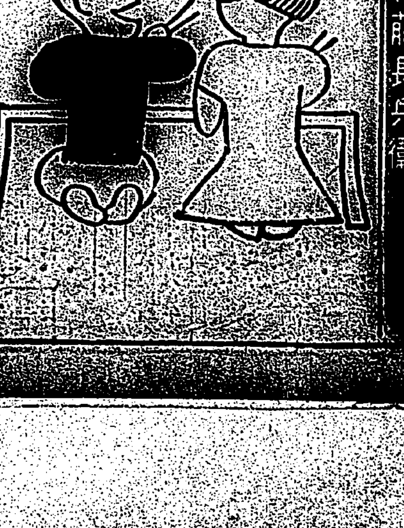
一瓶つけたら鏡を御覧ん
眞に色白くなる
皮膚漂白料　ミトセ漂白美顔料

オコシノモノハ ナンデゴザル ニッポン一ノグリコ

りん病 初め塗き リベール
内服數時間後に青き尿を出し尿道の淋菌死滅し放尿と共に排泄す　因て「うみ」去り痛み忽ち消散す

たばこ　仁丹石鹸

味の素
うまい物が身に付いて、太る延びる
宮内省御用達　鈴木商店



昔も今も
效能で賣れる　七ふくひえ薬
效逆上を引下げ便通をよくし梅毒其他諸毒を下す
本家七ふくや伊藤長兵衛
大阪高津表門筋

醫藥棒狀　半分計　仁丹体温計

漢文 臺灣日日新報

帝國脫退聯盟聲明書
外務省起草終了公表中外

十五日東京電。政府提出聯盟脫退通告文。同時決定將聯盟脫退所由帝國政府聲明。公表于中外。外務當局起草亦已終了。右聲明書。專為聯盟脫退後。闡明帝國外交方策。務使列國理解。從而骨子諸點如左。

一、帝國政府雖不得已脫退聯盟。然于平和的精神。則無何等有所異。與列國同為協力世界平和。增進人類幸福。自不待言。

一、對國際聯盟應開平輔合議。其他文化的經濟的問題所關平和事業。以非聯盟國。不吝適切至當協力。

一、關極東平和確保。固不待論。而其任責有決意。又關與英美其他列強協調努力增進之政策。與從來無何等有異。

一、關滿洲國。必以為獨立國。基于承認之所信。為極東平和援助健全發達。復望列國與滿洲國。與以好意及援助。而即從速正式承認也。

一、對民國因有望日早一日如從前恢復善隣友好關係。對同國々內的整備。為友誼的援助。並希同國承認滿洲國獨立。對日滿兩國間關係。而出以平和的調整方途。最為希望。

文幹聽三公使意見
與將協議對日策

十四日北平電。外交部長羅文幹。十三日午後十時餘招待英美法三國公使于外交大樓。就華北下野顛末。中央北將攻備接收後。對日方針等。詳細報告。以求諒解。然後聽取三公使意見。十四日午前三時發滬地赴保定。因蔣介石。副與保。蔣作賓等。自午前十時開會議。由羅部長報告與三公使折衝結果。開重要協議

我飛機爆擊牛家口
使敵軍集團潰走
喜峰口完全占據

十四日錦州電。十三日赴喜峰口爆擊之〇〇〇〇隊。午後二時半。于山河橋發見敵集團。為之爆擊。俾多大損害。又〇〇〇〇隊。對喜峰口西方六粁牛家口敵軍。爆擊潰走。喜峰口我部隊入城。完全占據關門。

不越長城線應戰
敵擁大軍而來
我軍損害亦增加

十四日喜峰口電。對二日確保長城我兵逆襲之宋哲元軍。並擊于南方一里。服部々隊各部隊。由長城內一齊砲擊。對敵堅固陣地。不退一步。目下激烈應戰中。敵擁大軍而來。我軍陷于相當困難形勢。我軍依然束縛于不可越長城之命令。而止于長城線應戰。為是我損害益有增加之勢。

王以哲軍殆全滅
衛戍病院不能收容

十四日北平電。古北口為我軍攻擊之王以哲軍與第二十五師為傷兵。陸續後送。在衛戍病院不能收容者。收容于通州中學校及女學校。據傷兵所談。王以哲軍五分之四戰死。以外負傷。殆歸全滅云。

古北口治安
我軍確保

十四日古北口電。因川原部隊主力。入城古北口。為當地治安回復。敵兵已完全潰走。而無逆襲之氣。

蔣對將士
激勵通電

十三日北平電。蔣介石十三日于保定。對東北軍將士發通電如左。今也中國興亡。一在吾等軍人之双肩。學良雖下野。其軍隊為余之軍隊。即國家之軍隊。余發重擊良惡。又要其所受。諸子宜以從前之態度努力國防。此即實現學良之意思也。

馮、鄧偽勇軍
退却省境

十四日赤峰電。為日滿軍由赤峰。烏丹城追擊之馮占海。鄧文。孫殿英。李海青等偽勇軍。全部退却熱河省境。彼等集結地。在察哈爾。多倫方面。目下于同地大混亂。

喜峰口前面掃蕩
敵死屍堰止溪谷

十四日喜峰口電。十三日早朝。服部部隊喜峰口前面殘敵掃蕩。我軍突擊戰殊奏效。粉碎敵陣地凱歌。最初敵各據高地所築銃眼。頑強抵抗。自鐵門關前進米山部隊。據牛家口要害對峙。互數時間激戰。然因彈藥輸送極困難。爭時間對陣不利。至午後三時頃。敢然為肉彈戰。于大混戰後陷落。一面山住部隊。掃蕩喜峰口東方二里家子鎮守院。與城子一帶殘敵。同日戰鬪。我損害戰死一名。負傷七名。敵死體堰止溪谷。

聯盟脫退通告文
廿四日提出事務局

十五日東京電。樞密院。自十八日以平沼副議長為委員長。開聯盟脫退所關御諮詢案精查委員會。右精查委員會。以兩三回審查完了。御諮詢案。二十二日定例本會議。緊急上程。預料即刻滿場一致可決。于二十二日或二十三日。首相外相同道參內。得御批後。使將聯盟脫退通告文。提出于寿府聯盟事務局。因而我國自大正九年以來。聯盟外交清算。即對聯盟提出絕緣狀。若無特別支障。按在二十四日。

中川總督
宴警務部長

中川總督。十五日正午於官邸。招待目下開會中全島警務部長會議出席各州部長。及三廳課長。開午餐會。警務局友部局長。今川。王野。森川各課長列席云。

臺中州官界大異動
退職本官等十九名
各郡警務課長亦異動

臺中州內務部關係異動。去十五日發表。退職者州會計課長田口彌右衛門氏外本官八名。吏員三名。囑託一名。屬員五名。又郡庶務課長及州係長。殆全部異動。州當局亦顧今後退職者。待遇其今後生活。慎重銓衡結局。有恩給者。或在官中蓄有相當財產。使其勇退。同時俱與以最高限度增給及賞與。金額達六千八百餘圓。將來就職。州亦欲為斡旋。其退官者及異動如左。

會計課長田口彌右衛門。北斗郡庶務課長山口一郎。市財務課長榊原守道。土木課庶務係長宮森金次郎。以上依願免本官。能高郡庶務課長成田誠二。命會計課長。會計課經理係長清水直規。命土木課庶務係長。新高郡庶務課長五藤勇。命地方課庶務係長。會計課檢查係長山吉祿郎。命會計課經理係長。大屯郡屬城之園正彥。命會計課檢查係長。稅務係橋本靜雄。命臺中市財務課長。地方課庶務係長佐伯淡右衛門。命彰化郡庶務課長。教育課庶務課長河內寅次郎。命北斗郡庶務課長。彰化郡庶務課長青柳金市。命豐原郡庶務課長。豐原郡庶務課長齊川身代治。命新高郡庶務課長。竹山郡庶務課長豬股力兵衛。命大甲郡庶務課長。大甲郡庶務課長外間永彰。命能高郡庶務課長。彰化郡屬船田勇記。命竹山郡庶務課長。又警務部關係郡警察課長異動如下。彰化郡警察課長寶藏寺虎。命大屯郡警察課長。新高郡警察課長小川繁治。命彰化郡警察課長。大屯郡警察課長寺尾德右衛門。命大甲郡警察課長。大甲郡警察課長山口七郎。命東勢郡警察課長。東勢郡警察課長宮本能武。命新高郡警察課長。

萬一時移住海南島乎
華僑募視察員

臺北中華總會館。值此日華關係險惡之秋。更傳臺北駐在總領事亦欲歸去。遂形使歸還本國。事。與在臺華人全部歸去萬一之時。須令駐在總領狼狽。以為若日華間。有萬一在住民。若退歸本國福建。廣東兩省。徒為軍閥之私利私慾。非一同可棲之地。然臺灣華僑將來之安住地。亦進退維谷。遂認要物色別天地。其候補地。擧廣東省下海南島。為此檢分。早於一是月間。對全島中華會館及分館。發出海南島視察團々員募集之通達。該通達。北陸中華會館。雖接到。然希望視察者絕無。已於去十三日。將情回答總會館矣。

植民地追加豫算
臺灣十萬七千圓

十五日東京電。十四日閣議。決定昭和八年度特別會計追加豫算中。植民地關係額如左。(單位千圓)

朝鮮總督府 八一五　臺灣總督府 一〇七
關東廳 一六〇　南洋廳 四八

而朝鮮總督府。充為米穀統制法實施費。為替管理法施行費。國債利子等。臺灣總督府。充為米穀統制法。為替管理法施行費。關東廳充為為替管理法施行費。熱河野戰郵便費。

臺灣小麥耕作
栽培試驗著々就緒(下)
將來得為重要農產

本島小麥作。于十月十一月播種。三四月間收穫。成育日數約百四十日至百六十五日。若選定早熟性品種。為兩期田第二期中間作。于旱季插植前收穫。稻兩作。小麥一作。將為三作收穫法。最為理想的。此耕作若如落葉。以稠仔小麥法。或有成功可能性。當大正七八年。至大正十年。臺中地方有計及。至大正十年。農業部亦有此議論。然當時本島小麥作。經濟性薄弱。不必為無理強行。以是乡不顧其說。自是經過十餘年間。該小麥問題。至昭和二三年。復惹一部人之注意。然因嘉南大圳完成。須計及雜作期間之作物。且加前述。依期存法兩期田三毛作案提頭。此次已發見早熟性品種。而稠仔法。亦得自信。一面雜作期間小麥作。稍有增加之趨勢。近來又因非常時刺戟。更新心思。如是就本島小麥作。以何處為要點。殊為問題。小麥係冬作。而其性質。于收穫期。恐對要乾燥。故于收穫期。適當雨期之北部地方。不宜于麥作。最適于中南部天候。同地方栽培上有兩法。第一兩期作田中間作。考究于十二月底完成收穫法(早熟種育成選擇稠仔小麥法考究)第二嘉南大圳區域。三年輪作法中。雜作之小麥作。若此等經濟的有利。在中南部地方。有約三萬甲小麥作餘地。假令一甲收量八石左右。則有二十五六萬石。五百萬圓。即其計算不和。地方產業。應不致如今日之不振。至少亦自有舜目。由此意味。前年農事試驗場長會議。決議十分研究。最近中研嘉義農事試驗場支所。臺南州立農事試驗場。臺中州立農事試驗場等。試驗成績。頗調經過。于一部人。尤甚注意云(完)

新竹州蕃地
霜雪莫大

新竹州蕃地。自十日以來氣溫低降。去十三日。大溪郡下蕃地一帶降霜。四千尺以上者。皆見積雪。農作物損害甚大。又竹東郡

嘉義停車場改築
工費四十六萬餘圓
按五月中全部告竣

嘉義停車場改築工事。總經費四十六萬八千圓。自昭和五年著手。作三個年繼續事業。目下跨線橋。本線長七十尺。工費一萬二千圓。社線長二百尺。歸大日本明治兩製糖會社負擔工費。以上延長二百七十尺。左通明治驛。右接北港驛。縱貫道路南方設機關庫八室。倉庫事務室。北港驛前驗地。置倉庫事務室。及其他保線區事務所。構內線路。附屬建物等。均已完工。現本家建築中。建坪三百八十坪。取形於京都驛。工費八萬圓。合其他工事。金額十一萬三千圓。小手荷物引渡所。擬設于本屋南方跨線橋出入口。萬本館。充為驛長室及事務室。以上總地域。達四萬五千坪。驛前廣地三千坪中。諸運送店家屋。已全部拆棄。現由市役所鋪裝。按來五月間。全部告竣。停車場至市役所間。為同市內最繁華道路。兩邊店鋪。雖設亭仔腳。尚有一部分未設。停車場至東市場間。為島人往來頻繁街衢。亦未設置。市當局。令召集地主唱議施設。奈所有者反對。遂成懸案。現已決定施設。經向臺南州。提出申請。俟州令發布。即時著手。而市內所有道路。亦決定整理。六間以上道路。州負擔整理費。其他巡迴道路。歸保甲民。警務出役云。

嘉義女公
將移轉下路頭
校地買收中

嘉義女公學校。在元町六丁目。居同市內繁華區域。交通頻繁。且校地北方。為本島人間。來往最多之通路。因教育關係。不能亦大障碍。現已決定移轉于市店派出所南隣。即下路頭區域內。目下新學地買收中。每坪單價。按六十錢。而現校地。擬拂下於民間。總額約十八萬圓云

澎湖土產展
水產甚多

在馬公街役場。開澎湖土產品考案懸賞募集。並土產品展覽會。計五六兩日間。觀覽者甚眾。出品物之特色。以海產物利用為第一。內如水產學校學生。以鱷魚尾叉軟骨。製造作齒托。受一等賞。乙堀龍良煎餅。廿潤俊秀。為二等賞。吳聯灼氏之貝造觀音。宮崎氏之鹹製魚脯。林泉順氏之八寶菜。陳慶誌氏之五色貝。陳伯發之精製花生油。及考案等。亦俱受二三等賞。然其中最有價值者。如王其仕氏之清代康熙古磁盤。緒赤鹽兒。及花瓶水牛等件。而活物如黛黃錢金魚諸類。以及黑珊瑚之盆景。貝細製之花籃。亦頗惹一般注目。其他石花。紫菜龍鬚珉璫則數見不鮮。而當七日之受出品考案等賞。乡至五十餘人賞狀及封金。亦甚多數。當日各界臨席松村陸軍司令官。登拍祝辭。三浦街長及廳當局。對斯道之獎勵。最為熱烈云

北門製鹽
改良品質

專賣局。對本島製鹽品質改良方針。由北門製鹽業者努力改良結局。品質漸佳。生產頗增。右係北門出張所長中島隆吉氏。滿任以來。親切與一般製鹽業者接觸。傳授改良方法。自立于第一線。督勵部下職員。努力指導現場。始有今日之發達云。

中和庄
地方改良講習

海山郡中和庄主催。於庄役場。開地方改良講習會。十八日起三日間。州派遣講師如左。臺北州支會平田主事。產業組合。岩田農會技手。園藝。養雞。州畜產技術員。又十八日。欲見學農業傳習所其他云。

三年輪作有反對者
水利當局說明學理
嘉南大圳協議對策

嘉南大圳管理者今川氏。去十四日下午一時。集川村理事。細井總務。木村非公室。開重要事務諮商會。聞去十三日。於州會議室。倡開之八年度豫算案內示會。聯各代議員之言論。洞察地方情況。是日乃欲先行磋商總會時之具體對策。蓋週來組員中有主張反對組合根本計劃之三年輪作。企圖改為兩年輪作者。組合一進。對抱是等意見者。將為學理的說明。俾得遂組合之使命。藉以徹底組合之精神云

新高自動車會社
郭家三兄弟送局
商銀支店長以下受買收

新高自動車株式會社經營者臺北市上奎府町二丁目郭章棟。郭章栗。郭章鼎三兄弟之不正事件。州刑事課。取調已完。爰于十四日午後送局。本事件。一如前報。因郭家兄弟經營之新高。晚客車。被不況影響。雖以淡水乘合車之利益補填。亦難彌縫。為此挽回策。乃以不動產。及事業權利為擔保。借入巨欵。郭兄弟。以自己振出之手形。引受人用兒童。使用人等名義。當信用調查之時。買收市內本町三丁目七番地帝國興信所臺北支店員陳記。作成利已之調查書。更買收貸付銀行商工銀行支店長坂井辰治。同助役吳包。同檢印係施世在三名。應其不正貸付。是故不正支店長以下三名。只送書類。而郭家三兄弟。則合書類。於十四日送局云。

老梅信組
議從事務所

石門庄老梅信用組合。十三日午前十時。於老梅劇場開臨時役員會。監督官中村課長亦到。協議事項即一、組合事務所移轉問題。二、出資一口金額減少手續。三、新組合員募集方法。四、貸付金貸付方法改正。就中最難決者。因新派競爭。要設第二事務所。因經費治繁。恐難維持云。

被母叱責
少年自經

南投郡名間庄松柏坑四九四番地陳礦次子陳高溪。年十六。本年將畢業於公學。去六日午後七時。忽自經於其家之小屋。是日吃飯時失蹤。家人偏覓始覺。查其原因。乃是吃母命料理飲事。因童心未除。貪於遊戲。遂致失時。被其母叱責。一時興奮。遂尋短見云。

查。發見彰化公園構內扇屋喫茶店女給所為。於去十二日人贓並獲。想證據分明。不日中當送往檢察局究辦。

臺北山砲隊
十七日抵基
行軍演習

臺北山砲隊。訂來十五日起三日間。行軍演習。參加人員。官十四。將校十六。下士官十四。兵八十二。馬五十六。十五日發臺北本營。經士林。草山。金包里。十七日午後四時。抵基隆。翌十八日午前七時半。起程歸北。十七日於基隆市

湯佐輔與王一民
被學良同時銃殺

十四日天津電。湯玉麟次男湯佐輔。在熱河主宰阿片稅外十三處徵稅機關。藉父權勢。絞取省民膏血。熱河既陷。則逃至北平。張學良赴上海前夜。誘至順承王府銃殺。又天津事變前後。任天津公安局長時對我國惡感之王一民。其後發覺與佐輔結託。二十數次密輸阿片于天津。被監禁于北平。與佐輔同時被銃殺

泥水匠疊壁
壁崩壓死

淡水草埔尾。小中察九五番地鄭金鐘。年二十二。十三日午前八時。在隣家疊壁作業中。忽然壁垣崩倒壓死。現場經郡司法主任檢屍。付家人埋葬。

衣類被盜
人贓並獲

臺中州彰化街楠田助役。於數日前夜間。夫婦相携外出。比及歸來。見宿舍內所有衣類價值三百餘金被盜一空。經當道苦心調

蔡敦輝氏免訴

臺灣新聞海山郡駐在記者蔡敦輝氏。前以恐喝嫌疑被拘。檢察求刑懲役一年。十四日在臺北地方法院公判。瀧澤判官主審。蔡氏請證人立證。因證據不十分。遂決定免訴云。

跌死續報
眼球有傷可疑

臺北市日新町二丁目庭貫雲逆閣李氏秀美宅中。去十四日午前。其情夫臺北市大橋町一丁目百六十二番地林添泉。年三十七。由樓上跌死。有他殺嫌疑一節。已如前報。去十四日午後一時。在臺北署專山久保博士執刀。北川檢察官。清水警部立會之下解剖。查明後頭部。突起腦振盪死亡。唯不可解者右眼球外傷達腦。實不自然落之傷。是疑為跌落前。先受外傷。故死體解剖後。再檢查現場北署刑事室。刑事防犯一同。合北川檢察官。久保博士。重行考慮後。為彼向右可疑之外傷。決定繼續取調。十四夜。北署刑事總動員。召集關係者一同。調查其眞相云。

爭奪甘蔗
傷害致死

臺南州合文郡下營庄陳瑞永。年二十四。去十三日下午二時。於其宅前。與其弟陳瑞美。年十八。為因爭奪甘蔗事。以拳誤傷其弟下腹。致脾臟破裂而死。郡警察課聞報。立將瑞永拘捕。調查後。雖得其情。以傷害致死罪。送理中云

是々非々

鳥為食亡。人為財死。市內黑猫派。貪戀富家之人。不計及終身大計。可悲也(皆人寄錢)稻新街某仲介商。對產地顧客亂報米穀行情。似此信用。豈能維持永久。(反招損失)[illegible]

桃園
役場行事

桃園郡蘆竹庄役場。定十六日午前九時起。在役場內開[illegible]會。同日午後一時。舉行[illegible]式。午後二時。起開[illegible]

理髮總會

[illegible]

新竹
分頭臨式

[illegible]

獎設堆肥

新竹州農會。為期徹底的改良耕地。現正在獎勵造堆肥舍。本年度。計上九千七萬五千圓。在州下各地。獎勵堆肥舍建設。助成金十圓。乙種五圓。而九年末所擬設棟數。為八千二百六十五棟。堆肥製造量。可得六億一千八百十八萬八千斤云。

方委件數

新竹州方面委員。七年中所辦理件數。三、二七九。內中指導。[illegible]

視學群擧

竹東郡視學中原才三郎氏。[illegible]

漁業宣傳

[illegible]州水產會。為鼓舞漁業[illegible]

彰化
運轉開始

臺中州彰化郡鐵會社所經營之彰化南投間自動車線。[illegible]

爭懸賞金

臺中州員林街林瑞紹之妻[illegible]

南投
罰賭四色

[illegible]

嘉義
祖廟祭典

[illegible]

盜犯就捕

[illegible]

捐金恤兵

[illegible]

北港
文昌春祭

北港五文昌夫子春祭。[illegible]

人事

[illegible]

會事

[illegible]

產組競技

[illegible]

夜學成績

[illegible]

攻防演習

[illegible]

澎湖
祝賀盛況

[illegible]

方委例會

[illegible]

村落小火

[illegible]

臺灣日日新報

行旅死亡人公告

宜蘭街役場

鈴江特許法律事務所

東京市小石川區江戸川町

臺灣の各位に

農林省比較審査最高位入選

清水式精米麥機

混砂退治

特許最新型の特長

一、能率倍加
一、搗減半減
一、胚芽好適
一、殺熱皆無

清水商會

東京市神田區五軒町

腦神經病に

健腦丸

腦髓の綜合作用により、腦神經の疾患を快癒し記憶力、理解力を增進し、頭腦を明晰健全にす

頭痛

便秘

不眠

憂鬱

特長

健腦丸は常用するも副作用がなく……を未然に防ぐ

丹平商會

懸賞當選三大國民歷史

高橋俊乘著

國民日本歷史

國民と國史！この兩者の間柄は言はば親子のやうなものであるにも拘はらず日本人のうちで―

幾人のものが我等の祖先を知る？

また過ぐる日壽府に於て歐米諸國を前に堂々活躍された松岡全權のごとき確とした世界認識をもつものが―

一体わが日本國民の中に何人ゐるのか？

國民よ!!心の窓を開け!!そして先づ我國三千年の歷史を喚び起し、東洋を認識し、世界に眼を向け、飽迄大國日本國民としての教養を忘れてはならない…

國民に與へられたこれは平易にして權威ある三大國民歷史である

鑑選者　日本史　西洋史　東洋史

定價各冊三圓

柴田親雄著　國民西洋歷史

村上秀一著　國民東洋歷史

高校受驗生はゼヒ一冊!!

木宮泰彦著　參考日本通史

東京神田　冨山房

キング

人氣爆發！

賣れる賣れる！

實物を見て買はぬ人なし!!

流石は世界的大雜誌！眞に驚いた大奮發！

附錄だけでも六七圓の値打！

第一附錄　最新大日本地圖

莫大の費用を投じ新たに完成した最良精確の大地圖

第二附錄　名畫色紙六枚

國寶的名畫を實物そつくりに複製した色紙集

執筆　横山大觀先生　川合玉堂先生　川端龍子先生　竹内栖鳳先生　山元春擧先生　小林古徑先生

第三附錄　世界十傑肖像畫

偉人に親しむは人物を作る第一の近道！

第四附錄　結婚職業 科學的運命判斷

出世、成功、家庭幸福への水先案内！

第五附錄　格言俚諺集

修養處世の大指針！演說文章の良參考！

百號記念

五大附錄つき

四月大特輯

大特輯『聯盟脫退！再び世界大戰の勃發か？日本は何うなる』

危し、切迫せる國際關係！正に全同胞奮起の秋！

内容

此の外名記事、名小說數十篇あり大壯觀！

大奉仕！特價六十錢

大懸賞　美術色紙掛　一千個進呈　外一萬人當選で大評判

◎御注意　この素晴しいキング！時遅れては再びお手に入りません。早々もお急ぎお求め下さい

大日本雄辯會講談社

南巨三

頭痛にノーシン

新らしい經濟復興を目標に 世界的不況の大底を衝いた

[illegible]

平和的事業には今後も引續き參加せん

御諮詢案の附屬文書

【東京十五日發電通】政府は一昨[illegible]

（一）[illegible]

（二）[illegible]

（三）右諮詢委員會の外に委任統治委員會、公衆衛生委員會、國際事務局、國際航空委員會、交通協會、阿片中央委員會[illegible]

（四）[illegible]

（五）國際勞働機關に關する條項は對獨平和條約第十三編に挿入せられ[illegible]

下審査を終る

けふの審査委員會で 陸相海相も出席か

【東京十五日發電通】[illegible]

審査委員會は十七日から開催

本會議上程は廿二日

【東京十五日發電通】樞府は十五日[illegible]

脫退御諮詢案の下審査續行

十三、四、五日の三日間

【東京十五日發電通】[illegible]

樞府本會議

鐵道省官制中改正の件可決

【東京十五日發電通】[illegible]

製鐵合同問題で上山氏が鋭い質問

貴族院本會議（十五日）

【東京十五日發電通】[illegible]

上山滿之進氏（同和）[illegible]

中島商相 [illegible]

荒木陸相 [illegible]

水野甚次郎氏（交友）[illegible]

松本勝太郎氏（同和）[illegible]

陸相 [illegible]

宇品港域軍事取締法案を可決

[illegible]

參議官會議

陸軍省で開かる

【東京十五日發電通】[illegible]

清瀨由谷兩氏陸相を訪問

賣國事件で

【東京十五日發電通】[illegible]

希望決議附きで爲替管理法可決

貴族院の委員會で

【東京十五日發電通】[illegible]

關稅定率法中改正法案委員會

【東京十五日發電通】[illegible]

本日の兩院

【東京十五日發電通】[illegible]

▲貴族院 [illegible]

▲衆議院 [illegible]

美術品取締案衆議院に提出

【東京十五日發電通】[illegible]

蠶絲業全般の本格的の調査

農相を會長に十五名を委員として

【東京十五日發電通】[illegible]

外務省の人事異動

【東京十五日發電通】外務省は近く左の人事異動を發表する筈

シドニー總領事　井上庚二郎

通商局第一課長を命す

歐米局第一課長　杉下裕次郎

任大使館一等書記官 ドイツ國在勤を命ず

諮問委員十五日開會

【ジュネーブ十四日發電通】[illegible]

永野軍縮全權紐育に著く

【ニューヨーク十四日發電通】[illegible]

三木武吉氏等民政黨に復黨

吉田磯吉氏の斡旋で

【東京十五日發電通】[illegible]

突擊隊の行動內政問題

獨外相が一蹴

【ベルリン十四日發電通】[illegible]

阿里山高山觀測所きのふ盛大に開所式

本島氣象觀測に一エポック

【阿里山十五日發電】本島氣象觀測に一エポックを劃し[illegible]

參列者は

[illegible]

小濱內務局長は

[illegible]

新設の [illegible]

山嶽の [illegible]

總督告辭 [illegible]

幣原帝大總長 [illegible]

今川知事 [illegible]

辭令（東京十五日發電通）

[illegible]

督府辭令

昭和八年三月十五日

[illegible]

◇シナチク◇

[illegible]

土地競賣公告

一、土地所在　高雄州潮州郡竹田庄 [illegible]

一、面積　九拾六甲四分六厘貳毛

右競爭入札ニ依リ賣却ス

昭和八年三月十六日　高雄州

◎碁盤特價賣出し

碁盤、碁石、碁笥一組

木地五寸（大特組）二〇、〇〇

塗五寸（大特組）一九、〇〇

木地四寸五分（大特組）一九、〇〇

塗四寸五分（大特組）一八、〇〇

右百組限り大特價提供

臺北市本町二　電話三三五番

國盛進商行

第四拾五回決算報告

[illegible]

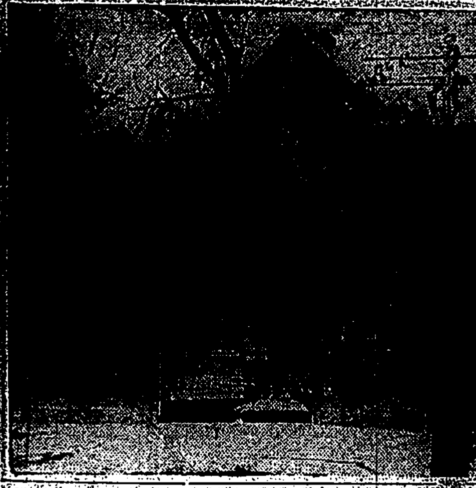
臺灣肥料株式會社

恒春社鎭座祭

【恒春電話】恒春神社の鎭座式は十五日午前十時恒春郡城三臺山鎭の新造社殿で執行された、州知事代理小林內務部長は祭主末、長谷川警務部長を随へて臨場し地方の主なる官民小公學校兒童等参列、口郡守は奉幣使として隨員と共に参向、式は阿緱神社高橋社司によつて遷座祭神饌幣帛其他の諸儀を嚴かに執行、祝詞を奏し御玉串を捧げ口郡守祝詞を奏し玉串奉奠終つて知事代理其他大玉串奉奠を終り拜禮の儀にて同十一時閉式、一般の參拜者多く參拜し神社附近の屋臺店は各々盛況んに人を集め同地方空前の盛況を呈した（寫眞は恒春社）

多年の熱望達し 市民の歡聲公會堂に溢る
きのふ高雄の法院支部開所式

【高雄電話】高雄州民多年の熱望たる高雄地方法院支部は臺南地方法院の支部によつて新たに高雄に設置された法院支部の開所式は十五日午前十時から總督府法務部長代理、山本法務課長、後藤臺南法院長、竹內臺南法院檢察官長、野口高雄州知事、竹下高雄市尹知事、田中高雄法院判官、石川同檢察官其他の各官民の名士、地元官民約四百餘名臨席の下に高雄市公會堂で舉行された、定刻開式の辭につぎ法院支部長大岡判官の式辭があり山本法務課長、總督代理小濱內務局長の祝辭を代讀、更に後藤法院長、竹內檢察官長、野口知事、岡本高雄市尹外各代表の祝辭あり次いで閉式の辭があつて閉式、直ちに別室に移り大岡支部長の挨拶、野口知事の發聲で萬歲を三唱して十二時半散會、それより一同自動車を連ねて法院支部廳舍に参集、各支所を參觀後、別に山形水池にかける州市主催の祝賀會に臨み知事の挨拶後臨法院長の謝辭によつて一同に祝盃を擧げ午後一時盛會裡に散會した（撮山の寫眞は高雄法院外臺館道の祝宴を撮影、右は山上席支部）



「明るくなる基隆」
新施設としての照明 追つては全市街に

【基隆電話】既報の如く基隆市に於る近代都市施設としての街路照明については全市に亙り明るい町としての感じや又プロムナード・の一としての商圏の賑ひに盛んならしむる點等を普及させる意味から市役所及市協議會で此の點遂次市の新施設として照明より明日照明設置二十本、田寮港運河に於ても新町通りに二十本、天神町より本町に至る八本計四十八本の新式ポール（ヘクト）型各燭六十四ワットの木柱新設の事に決定した、內新町及天神町方面の分は市役所に於て經費を負擔しその他は設置町住者の擔當及び寄附の事となつて十三日午後一時より市役所で關係者參集打合せの豫定だつた所參會者が少く決定に至らず更に持越りの上取纏めを爲す事となつた、左右に落着その決定を急ぎ來月に入ると共に新設作業につく豫定であるが尙今後はそれに引續いて日新町及同上海岸通りにも行渡らせる豫定であると

基隆の匡救事業 市區改正工事終了

【基隆電話】基隆市の七年度時局匡救事業として行はれた市區改正工事は今末の豫前に從つて河灘りの工事を受けたが無して躊躇なる情況を示し双葉町線道路工事は工事中にては既設の一段落を告ぐる事となつたが又入船町從山村道路所の家屋取拂、軌道撤收に手間取つたけれど最近閲覧解決を告げ目下整地施に下水溝新設中で本月末までには既に豫定を行つて一切豫定通り終了の見込みであるが昭八年度に續する同工事も事業の本覺上新年度に入ると共に實測に着手する運びとなるであらう

苗栗郡の水稻堆肥競作
一等は甲當百十八石

新竹州苗栗郡街庄聯合水稻堆肥競作會の堆肥種造獎勵會授與式は十四日午前九時から苗栗公會堂で開催出品人五十餘名來賓其他著席坂本庶務課長の開會の辭、石渡技師の審査報告、池田郡守の式辭に次で郡當局に對し功勞者及賞品の授與、內海知事の訓示、來賓宇佐美街長の祝辭受賞者總代劉阿呑氏の答辭があつて十一時閉式したが本競は出品二百四十二點、審査の結果甲當、競收量第一期作に於いて最多百十八石七斗一升、最少四十八石四斗一升三合、平均八十一石三斗六合、第一期作にて最多百十五石五斗三升八合、最少三十四石三升二合、平均六十石七斗三升五合である今之を前回の平均成績と對比すれば第一期二十二石七斗五升、卽ち三割八分七厘、第二期作十一石二升六合卽ち二割三分一厘の增收を示し更に郡下一、二期

輸送移管が集集でも亦もめる

【臺中電話】臺中州新高郡集集街友會五助會では去る十二日午前十一時から集集倶樂部で總會を開催出席者百三十六名、昭和七年度事業報告、八年度豫算等を附議決定、午後三時閉會したが芭蕉輸送移管問題は果然問題化し全會員は挙て輸送移管については生産者の利益擁護の爲絕對に之を阻止する聯合會側にも決議があるから蕉友聯合會を組織する事を可決輸送移管阻止については委員を舉げて運動一切を委任する事となつたがこの決議は州下生產者の移管反對運動に拍車をかけるものとして注目されてゐる

出席の爲高雄へ赴いた所臺南の川村君等とも偶然落合つた譯である、知事も法院支部開廳の機會を得て宿泉を達した譯で輸送移管問題で高雄臺南州聯合會側と懇談した事はない、三副組長が十四日出府したのは陳情說明の爲と僕は聞いてゐる、併しこの件

一、會務報告
二、昭和六年度後援會收支決算承認の件
三、同聯合分會收支決算承認の件
四、昭和八年度事業豫定承認
五、同豫算認審議
六、湖口貸下地に關する件
七、聯合分會規約變更に關する件
八、兵器購入に關する件

まさば六萬尾 一夜の中に毒死

【高雄電話】高雄州鳳山郡小港庄張牛所有の魚塭に去る二月十六日夜何者か毒物を投じた者がありその魚塭に白魚六萬尾餘その他價格約五千圓が一夜の內に毒殺された事件は鳳山郡警察課の手で捜査を進めた結果犯人は高雄市前鎭某がそれと判明した

國語を解するは蕃人に却て多い
花蓮港廳下在住者では

【花蓮港電話】花蓮港廳教育課で最近取調べた廳下本島人及び蕃人の國語を解する者は蕃人二萬三千九百五十八人中一萬一千二百七十九人で四七・〇九%本島人は四萬一千〇八十六人中一萬〇七百四十八人で二六・一六%で蕃人の比率は殆ど本島人に比しその倍に近く之に依つて未開だと言はれる蕃人が向上心に燃えてゐる事を示す興味ある數字である

まだ一年にならないと 殘り惜氣に語る

【臺中電話】高雄州高等警察課長に後任につき種々噂されてゐたが十五日附にて總督府警務局保安課長平氏が地方警視に拔擢され高雄警察署長を命ぜられ次いで左の通り異動發表された（寫眞は工藤氏）

蕃人の見學

【花蓮港電話】花蓮港支廳下ブヌン族五名は同支廳下イリガン蕃人四名と研海支廳ブセガン蕃族青年所生徒二十六名は一隊となり二十四日から五月間の豫定で花蓮港出發二十五日基隆上陸後臺北方面を見學二十八日花蓮港に歸着すると

講習所入所

馬公支廳勤務平田政一警部補は今回東京警察講習所に入所する事となり三月十九日頃馬公出發上京の豫定である因みに澎湖警察から同講習所入りは大正七年頃故志津警部が最初の皮切りで此度が二番目だと云はれて居る

青年團續々結團

【臺中電話】非常時局を反映し臺中州下各地に於て青年團結成の機運昨年迄百十團にすぎなかつたのが既に二月末に於ては百四十團に增加し尚各地に於て續々結成されんとしつゝある

覺悟の自殺

【花蓮港電話】十四日午後九時花蓮へ○○○驛附近を通過した列車が臨時本願寺裏にさしかかつた際飛び込み自殺者があつた撿視の結果臨任百〇一隊進財（三〇）と判明したが家庭の不和から悲觀に死を覺悟したものと見え自宅より二丁も距らぬ附近の草むらにしやがんで列車を待つてゐたらしい形跡があり縊死者の頭部は顏部から無殘に切斷され飛込んだ箇所から千米ばかり引き摺られ兩足は形態も判らぬまで粉碎され一目と見られぬ慘狀であつた

豪華生活の夢破れ冷たい留置場に
一萬數千圓橫領犯人

【高雄電話】高雄州潮州郡新埤庄信用組合の書記兼事務員某は組合の金一萬數千圓を橫領した事件が判明し十四日高雄州刑事課の田中部長に檢擧され目下取調べ中であるが同人は數年前から犯行を續け數名の妾を圍つて豪奢な生活をしてゐたもので取調べの進行につれて續々餘罪發覺の模樣である

蠶業視察

新竹州大湖郡蠶業視察の爲め十一日來新、督府稻福技手、州森戶技手同行、吉岡部、赤木技手の案內で南湖、大湖方面の蠶業を詳細に視察の上十三日出發歸途についた

街庄視察團出發

臺北州文山郡庄聯合研究會では郡內街庄長街庄の事務を視察する爲中島郡警引率の下に郡下四庄長員一行七名は去る三月十四日から中南部に向け出發した日程は五日間の豫定である

芭蕉界多事 移管に對する憶測
三副組長の出北で決定するか

【臺中電話】總督府殖產局の芭蕉輸出組合及び聯合會の三者を通じて芭蕉輸送移管問題が微妙な動きを見せつゝある折柄臺中州の三內務部長が高雄に落合ひ前後して大竹青果社長池田臺南州の同件に關し竹下知事が十三日から臺中、小林三同業組合副組長が十四日高雄臨田臺南西村支部長の會談を爲したもので協議は何らの決定を見ず中田內務部長は知事も僕も、小林、臺南方面の芭蕉生産の狀況を一應見ておきたいと思つてたまたま僕は月例會に

「……必ず勝」

【臺南電話】臺南在鄕軍人分會では講演會及び座談會を開催し十五日午後一時より公會堂に於て時局講演會を開催、特に聽衆者を正會員及び名譽會員のみに限定し「日本は米國と戰つて勝つか」の演題の下に同氏は極めて深刻な內容を大膽に發表した

三陸罹災者に將兵の義捐

【馬公電話】馬公重砲兵大隊では中隊長以下將校下士は三十七圓五十錢、兵員は十圓を何れも自發的に三陸地方罹災に同情し義捐金を醵出してこれを澎湖廳兵分隊に取次方を十四日依賴して來た

畜產組合

【嘉義電話】嘉義郡畜產組合第四回定期總會は來る二十一日午前十時より同郡役所會議室に於て開催すると

台中州平均收穫二十九石三斗合を既作田平均收穫七十一石三斗一合に比すれば實に四十二石九斗九升七合卽ち十四割四分六厘の增收に當つてゐる次に堆肥は總出品數二百四十三點にて出品農家一戶當り平均製造數量は七萬貫二十萬四千餘斤、頭屋庄五萬八千餘斤公館庄九萬一千餘斤、銅鑼庄三十八萬九千餘斤、三叉庄十四萬五千餘斤、苑裡庄八萬六千餘斤、通霄九萬二千餘斤、四湖庄十三萬餘斤にて其の總平均十五萬四千餘斤に當り少きは二萬餘斤であつたが最も多きは銅鑼庄曾涵相氏の百十八萬餘斤と云ふ驚くべき數量である之を前回の成績に比すれば一戶當平均製造數量に於て六萬五千餘斤卽ち七割四分增加を示し他に比ざる好成績を示してゐる主なる授賞者左の如し

▲水稻
一等 銅鑼庄曾涵相
二等 苗栗街劉阿萬、銅鑼庄劉阿傳
三等 銅鑼庄劉嘉琳、同李連福、同謝順按、同劉阿連、同黃新泉、四湖庄劉阿發、頭屋庄馬阿盛
四等 苗栗街何煥外十九名
五等 苑裡庄何福外四十九名

▲堆肥
一等 銅鑼庄曾涵相
二等 銅鑼庄劉阿接、同吳阿水、苗栗街李永成
三等 三叉庄彭阿蘭、銅鑼庄何欽同劉阿發、同黃添丁、同李阿立同張吉海、同劉新坤、苗栗街何化
四等 四湖庄何發外十九名
五等 頭屋庄范永春外四十九名

海底電信開通

【馬公十五日發電】客年十一月二十八日以來不通となつてゐた澎湖、臺灣間海底電信は去月來遞信局の手で修理中の所十四日午後九時から開通した

春季國演會

【桃園電話】桃園郡下公學校兒童男女青年團、團體

聯合分會評議會

在鄕軍人新竹聯合分會では二十一日午前十時から公會堂にて評議員會を開催、左記事項を附議する

警察署長更迭
臺中及高雄警察署

前高雄州高等警察課長池所郁三郞氏が上海駐在臨時事務の爲上京して以來其

總督府囑託 工藤 哲中
任地方警視
敍高等官七等
八級俸下賜
高雄警察署長を命す 高雄警察署長 山本 毅一郞
臺中警察署長を命す 臺中警察署長 松村 强
高雄州勤務を命ず（州高等警察課長）

視學會議

【臺南電話】臺南州では十五日午前九時から州會議室に州下二市十郡の視學を集めて視學會議を開き公學校の教育施設等に付き協議打合をなし午後四時終了した、それ前日よりも非常な進捗振りを見せ正午散會した

專修校卒業式

【嘉義電話】嘉義商工專修學校では第十二回卒業證書授與式を十八日午前十時より同校にて舉行すると

共學兒童

【嘉義電話】嘉義郡下各小學校に本年共學を許可せる兒童數は左の如く十六名である
南靖小五、竹崎小二、嘉義湖二、阿里山小七

幼稚園の保育證授與式

【嘉義電話】嘉義幼稚園では十四日午前十時より同園內なる同園舍に於て保育證書授與式を舉行、楽觀市尹及び園主丹羽某氏その他同會關係者多數列席、所定の順序で進み十九名に證書及び賞品を授け最後に觀兒劇と唱歌等あり最後に觀兒の唱歌、遊戲等行はれて正午散會した

大湖郡卒業式日割

新竹州大湖郡における各學校の卒業式日割左の如し
三月十七日八角林公、十八日獅潭公、二十日卓蘭公、二十二日南湖公、二十三日大湖公、二十四日大湖農業補習學校

高雄市の小公卒業式

高雄市小公學校卒業式は左記の日割で舉行する
△三月二十日前九時第二小學校△同第三公學校△同二十日前九時第一小學校△同二十一日前九時第二公學校△同二十三日前九時第一公學校△同高雄商補校

米作月例會

臺北州基隆郡金山庄金山第一共同米作組合月例會（女子部）は十四日午後二時から同庄頂角李三界氏宅に於て講師來賓の訓話次いで協議あつて同四時散會した

臺南—高雄 對抗爭覇戰

【臺南電話】臺南高雄兩州警察官第一回對抗武道爭覇戰はいよいよ來る十九日午前十時より高雄演武館で開催されるが出場選手は柔劍とも各州教師を除き二段以上五名、初段及び二段五名、番外五名、計十五名の紅白試合である、州對抗と高段者が出場するのでその第一回試合は兩州とも非常な興味を持つて期待されてゐる、臺南州警務部では出場選手銓衡中で近く決定を見たがその發表は作戰上兩州とも試合當日持寄りを行ふことゝなつてゐる

年團長、國語演習所長の春季國語會は十五日午前九時より桃園公學校講堂に於て松尾郡守、中西視學、小公學校長學校關係者等參列、開會の辭あつて國語演習に移りそれ前日よりも非常な進捗振りを見せ正午散會した

惜しまれる松村臺中署長は丁度郡下の指揮を受けてゐる時である「新聞で度々噂を讀んで世間を騷がせたがやつと解決したね、ハハハ」と哄笑一番
「臺中へ赴任したのは昨年四月でまだ一年に足らないこの間郡下一同が熱心に協力支持してくれた事と官民一同が心置きなく援助して下さつた事によつて大過なく仕事をやつて來た事は感謝に堪へない、漸くこの地の事情にも通じて來てから愈せて頂く積りだつたがお世話のなりつぱなしで今回高雄へ轉任する事になりまことに心苦しい、紙上を通じ宜しく御禮へ願ひたい」と語つた尙赴任期は未定である

臺車から振落さる

臺北州基隆郡萬里庄中萬里加投字野柳四二方蔡某（二七）は十四日午後四時すぎ臺車を押して金山へ歸る途中の蔡陳明（二七）の臺車に便乘し途中同地野柳二二九先のカーブで臺車からふりおとされ高さ二丈の排水溝に墜落、右大腿部其他に全治三週間餘りの重傷を負つた

幼兒を助けて老婆轢かる

十四日午前九時頃新高製糖會社の製糖線の臺車が臺糖化街快官附近に進行し後押しで線路內に進入せんとするのを同所六四番地蔡氏玉（七）が助けやうとしたが二人とも大腿部を轢斷され洪氏玉は出血多量のため數分後に絶息したが蔡氏某は彰化醫院に入院加療中である

相橘組合總會

臺南州斗六郡相橘組合及び斗六郡聯合組合總會は去る十四日午前十時より郡下各街庄長助役等を郡會議室に集め昭和八年度の豫算に關する打合せを行つて午後六時に散會した

無賴漢に訓示

臺北州基隆郡警察課金山分室では十四日午前九時庄內の無賴漢を同分室に召集し宮崎基隆郡警察課長より成告を與へたが一同は宮崎課長の情ある言葉に大いに感謝し正午終了した

澎湖水產會

【馬公十五日發電】澎湖廳水產會評議員會は十五日午前十時から澎湖廳會議室で開會、梅津、副島、宮崎、上園、三州村其他各議員出席の下に八年度歲入歲出豫算を初め其他各議案とも原案可決して正午過ぎ終了した

土產品展慰勞

先般馬公街で開催し豫期以上の好成績をあげた土產品展覽會の慰勞會として三浦馬公街長は去る十一日午後五時から三田村廳水產係長、高澤水產會技長、南上園大久保、原、西宮、梅津、高瀨の各審査員及び役場職員全部を會議室に招待して慰勞會を開催した

人事

△新任臺銀嘉義支店長 猪木賢之助氏は十五日前支店長森秋生氏の案內で市內各關係方面に挨拶廻りをした（嘉義電話）
△專賣局煙草課長、安藤技師は十六日吉野村に行はれる第十六回煙草耕作組合臨時總會へ臨席の爲十五日來花樋口支局長は途中まで出迎へた【花蓮港電話】

小兒のせきにチミツシン

普通の咳嗽は勿論のこと、あの頑固な百日咳には特に良効がある。
寢る前に一匙を服ませて置けば夜中に咳き込むことも少く良く安眠を得せしめる。
蜜の如く甘いから喜んで服み小兒に與へて無難である。
一円八十錢、一円 試用小瓶もあり 各地藥店にあり

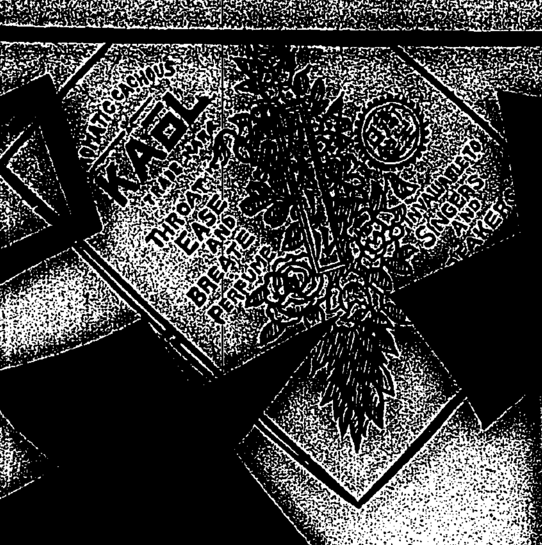
內容完備
飛行家養成 講義錄

飛行界へ入門者の福音
本講義錄修了後陸軍飛行隊へ見事パスして入隊したる者多數あり、又民間飛行機や發動機の製作所へ入所希望者の上き指導講義錄である。
特典 專屬飛行場千葉縣津田沼海岸鈴木飛行研究所に於て二等飛行士以上志望者に實地の練習を爲さしめる。
案內書は「飛行家養成講義錄」と規則書入用と八ガキで申込まれよ。
顧問 陸軍中將 長岡外史閣下
東京市四谷區大番町 帝國航空教育會 振替東京七九六三三 電話四谷三八六七

●頭痛にノーシン●

近代的な 春の替ズボン（スポーツズボン）一圓五〇より
そよ吹く風にズボンはなびく これ……若人の輕さでなくてなんであらう
印ヒツイ TRADE MARK MIZUNO CO. LTD.
大阪 東京 名古屋 神戶 京都 美津濃 運動具

働きながら獨學で中學が立派に卒業できる
中學校へ行かれぬ諸君は最も恵まれた若者の中學講義を學べ、此方の學用で中學が卒業できる！すぐ「中學案內」と見たとハガキで申込次第無料で送る
◆春季會員大募集◆
東京市神田區三崎町 帝國教育會出版部



衛生口錠

口中殺菌劑

カオール

一金貳拾萬圓也提供

（カオール定價拾錢包貳百萬個にて）

カオール發賣卅五週年記念事業として愛用者諸君と協力し一大『國民保健運動』用の爲

カオール拾錢包を洩れなく進呈致します

此の運動に御參加の御愛用者は

一、カオールの効能書を御熟讀の上、定價廿錢以上のカオールに添付の効能書を東京市日本橋區水天宮前本舖 株式會社安藤井筒堂藥品部保健運動係宛お送り下さい（開き封にして二錢切手貼付、住所氏名、明記のこと—郵税未納、不足は受付ません）

二、すると本舖は直ちにカオール十錢包をお送り致します

三、其カオールを受取つた方は先づ親しい方々へ數粒づゝ差上げて

イ、病氣にかゝらぬやう

ロ、病氣の主なるものは口より入ること

ハ、口より入る病を防ぐために汽車、電車、その他人込に居る時、外出の時飲食の後にカオールを口中にする事

等、其他保健、衛生に御氣付の點を御説明願ひます

斯く皆様の御盡力に依り一般保健衛生の思想が高まり、人生最大の幸福を得られる譯です是非御協贊を願ひます

カオールの配劑と其効用

製劑顧問 ドクトル 松尾道

一、口中殺菌劑を配合す
從つて空氣又は飲食物と共に口腔より侵入し來る黴菌、例へばチブス、コレラ、流感、結核菌等その他の病菌病毒を口中に於て完全に殺滅し、從つてこれ等傳染病を豫防す。

二、健胃整腸劑を配合す
從つて胃を健全にし、且その消化力を亢進し食慾を増進せしめ下痢、胃カタル等に整腸劑は殺菌劑と相協力してこれを治療す。

三、興奮劑及強壯劑を配合す
從つて心身の疲勞困憊したる時には其機能を賦活せしめ氣力を回復旺盛にし。健胃劑と相まつて肉體の强壯を計らしむ。

四、清凉劑及芳香劑を配合す
從つてその特有の芳香により口中の惡臭、惡臭を除き、扶斑劑は咽喉の乾燥を潤し、聲音を美化し從つて氣分を爽快ならしむ。

◎故に皆様の保健の爲に
◇惡疫流行の時　◇飲食の後
◇他人に接する時　◇汽車電車に乘る時
◇執務勉強の時　◇遠足運動の時
◇口中の臭き時　◇酒食を召上る時
◇禁煙を望む時　◇音聲を使ふ時
◇氣分惡しき時　◇疲勞したる時

カオールの二三粒を口中にされたし、本劑を口に含めば、マスク、ウガヒの必要なきと同時に心身を爽快にし、胃腸を健全になすの效あり

◎本日より直ちにカオールの御常用をおすゝめ致します

定價と容量

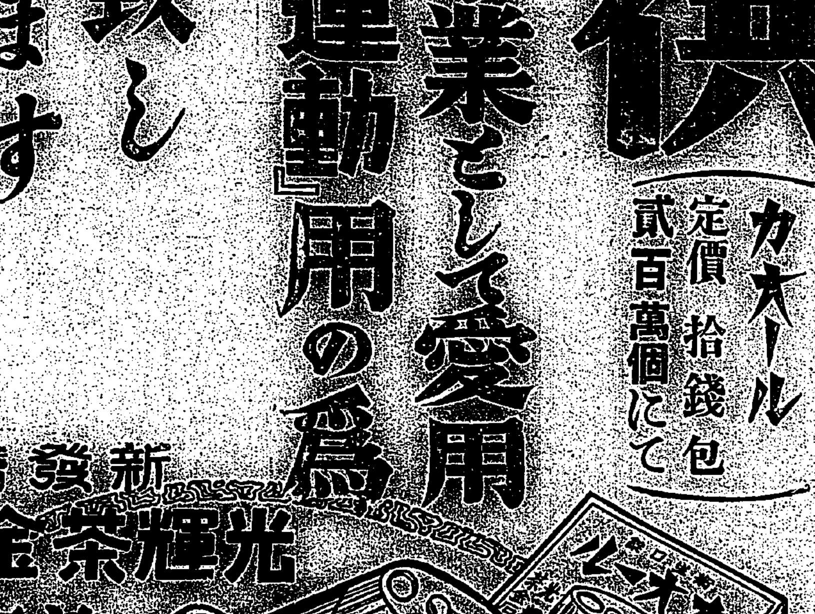
袋入	（十錢）	百粒
同	（二十錢）	二百五十粒
ポケット容器付	（三十錢）	三百粒
丁字形容器付	（三十錢）	三百粒
御勾玉容器付	（五十錢）	五百粒
鞄形容器付	（五十錢）	五百粒
德用瓶入	（五十錢）	八百粒
同	（一圓）	二千二百粒

全島到る處の藥店にあり

本舖 東京市日本橋區水天宮前 株式會社安藤井筒堂藥品部

新發賣

光耀茶金石製 美術容器



嘉南大圳

三年輪作を二年輪作に

嘉南大圳給水區域内の土地整理が……

給水狀態から觀ると

水源調査に依つて

四年輪作となし得

[illegible]

今後の臺灣は開發よりも土地改良

その方針で蔗作を奬勵　珈琲も栽培したい

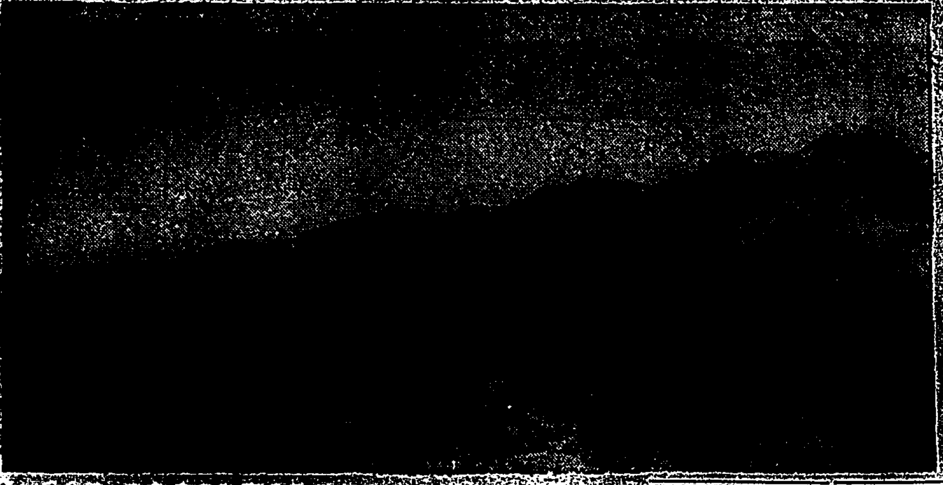
明治製糖社長　原邦造氏談

臺灣は三百目であるか……

各工場

農民を……

珈琲を



金　金　金

ゴールド・ラッシュの日　この島にも遠からず！

……（その五）……

本島には日本一の金山金瓜石があり更に埋藏量四十億と稱せらるる砂金が東部にあることは既に周知の通りで……

……◇……

……◇……

全國貯炭は激減

昭和元年以來のレコード

【大阪十五日發本社特電】石炭界に於ては各地貯炭高依然激減の一途を辿り遂に二月中旬の全國貯炭高は理想貯炭高たる百五十萬噸を割り百四十四萬七千噸と昭和元年以來の減少レコードを示すに至つた

今年の電扇

軍需工業の壓迫により品薄高値が豫想さる

【大阪十五日發本社特電】季節を迎へて本年扇風機の動向は、既に多少を極めてゐる軍需工業に壓迫されてそれでなくてさへ利益薄の同業は各社とも減産の……

蓋明けのウォール街

取引開始と共に優良株にはプレミアム

【ニューヨーク十四日發電通】去る十五日より再開……

硫安配給組合が市場對策を協議

浮動品買戻しを決定

【大阪十五日發本社特電】硫安配給組合では……

二月中の本島貿易

樟腦輸出減退著しく　輸入では麻袋等增加

二月中本島貿易は輸出二千三百七十五萬圓、輸入……

鳳山畜産組合創立總會

赤字公債

二億圓近く發行

倫敦市場

對米日爲替建値

輸出

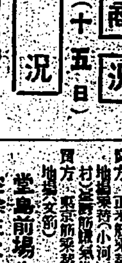
輸入

內國

東西南北

[illegible]

商況（十五日）



米況

臺中米價（十五日）

臺米現物相場

基隆在庫米（十五日現在）

高雄在庫米（十五日現在）

正米市場

正米市況（後場）

東京期米

大阪期米

神戸期米

堂島前場先限主なる手筋

堂島前場先限兩建控除主なる手振

堂島兩建控除俵合

堂島米況前場

株式

東京短期

東京長期

大阪長期

大阪短期

公債

東京國債

東京銀行實株

絲況

大阪綿絲

大阪棉花

大阪レーヨン

橫濱生絲

砂糖

爪哇

大阪清算

穀肥

神戸豆粕

大連特産

爲替

神戸對米爲替

米期

絕對誠實、計算迅速

證據金前納紹介ヲ要セズ

米況及營業案內贈呈

新規取引希望ノ方御照會ヲ乞フ

大阪堂島米穀取引所　一般取引員

白羽克己商店

大阪市北區堂島濱通一丁目

好職業

[illegible]

男女サック

[illegible]

珍寫眞

[illegible]

二七物

金物　建具金物　家具金物　タンス金物

大阪市……　加藤商店

機械ト工具

八木……

非常時!!御徳用の

軍隊拂下編上靴

青年訓練用大好評

青年訓練用品一式

【カタログ進呈】

大勝商會

結核新劑

有馬・青山・大槻　三醫學博士創製

免疫治療・豫防・診斷

日本國內の成績

A O A O A O　アーオー　A O A O A O

日・英・米・加・奈陀・佛・獨・專賣特許

（醫家ニ謹告）

肺結核ノ初期

肺結核ノ中期

外科的結核

眼科的結核

泌尿生殖器結核

肋膜腹膜炎

皮膚結核

氣管支喘息

痔瘻其他

發病豫防

無害確効

文献贈呈

ラヂオ大補

今日の番組

臺北（AK）周波[illegible]　臺南（BK）周波[illegible]

午前の部

【六・三〇】朝の體操、ラヂオ體操、今日の行事のお知らせ（臺北放送局發表）
【八・〇〇】氣象通報（臺北測候所發表）
【九・三〇】家庭講座「訴訟の手續について」△法院の手續△妻と夫の權利△代理人になりたい方
【一〇・二〇】家庭料理献立（猪山嘉子）

晝間の部

【一一・五九】正午の時報、氣象（臺北のみ臺北測候所發表）
【一二・〇〇】日用品小賣相場、臺南市西市場發表
山富子放送△えびの天ぷら△
【一二・一〇】放送局編輯ニュース（レコード演奏）

夜間の部

【一・〇〇】映畫物語「一、大岡越前守（伍東宏郎）」「二、眠れ母の胸に」（羽田芳波）
【五・〇〇】氣象通報（臺南のみ）
【五・〇〇】子供の時間（大阪）童話劇「思ひ出」第二話（コドモのテキスト第二十ページ）B・K コドモ・サークル
【五・三〇】コドモの新聞（東京）
【五・三五】支那語講座（臺北）初等科第十二課
【五・五五】カレント・トピックス（東京）ハロルド・ペーマー
【六・〇〇】子供の時間（臺北）吹奏樂其の他　臺北第二師範學校生徒　吹奏樂、合唱、ピアノ獨奏、四重唱（オッフエンバック作曲、天國と地獄序曲）ほか
【六・三〇】講演（東京）「萬國婦人子供博覽會の前奏曲」商工大臣男爵中島久萬吉、文部大臣鳩山一郎
【七・〇〇】謡曲（東京）未定
【七・五〇】浪花節（東京）未定
【八・三〇】時報（東京）
【八・三一】浪花節（臺北）續滿洲事變　野口一郎
【九・二〇】氣象通報（臺北測候所發表）臺日ニュース（臺北のみ）放送局編輯ニュース（臺南のみ）△公示事項△明日のプログラム發表

萬國婦人小供博覽會

前奏曲　講演

商工大臣 男爵 中島久萬吉
文部大臣 鳩山一郎

▲説明未定　明十七日から華々しく開催される萬國婦人子供博覽會の前奏曲として、この講演がある。

お晝の樂しみ

◇映畫物語◇

一、大岡越前守　伍東宏郎
二、眠れ母の胸に　羽田芳波

と町人、櫻花の下に二筋の刀光閃いて飛ぶ。武士は旗本大岡越前九郎、町人は小車長次、その宿縁に迫るのは目明しの親吉、これにからまる紅蓮の劇の如く快劇極まりない今宵物の探川のお鑑である。

二、眠れ母の胸に

暖かい母の胸、子供の時に死んでしまつたと聞かされても、懐かしくひびくものは母の胸の鼓動であると云ひ知れぬ甘いセンチメントが胸に湧き立つ。

新刊紹介

△世界公論（三月號）主なる内容は國家の進化と政治の職能（蠟山政道）近衛文麿と新興日本の現状（五來欣造）大正天皇大家の遺言を讀む、其他。
▲廿日の共和へ　平和時代の世界大戰と日本外交、其他論説、小説。
△美術新論（三月號）例によつて原色版數頁、口繪寫眞數十頁を飾つてゐる。論文に△美術館計畫の問題（和田三造）其他。

自慢の演藝

JOAK　七時より中繼

今晩の内地中繼の演藝は、全部東京放送局のもので、最初は謡曲、これが七時五十分まで、次は續いて浪花節である、共にまだ東京より詳報に接しないので、曲目も演奏者も未定である

六時からの子供の時間

◆吹奏樂演奏◆　臺北第二師範生徒が

臺北第二師範學校は吉尾寛之助先生及び宇佐美先生等の指導のもとに吹奏されるものです
一、吹奏樂
歌劇「天國と地獄」序曲、此の曲はオッフェンバックの有名な曲で、此の曲は調子のいいもので、殊に終りの方のギャロップの所などは本當に浮き浮きします
二、ピアノ獨奏　王國図
アメリカのフオスターの代表的な曲でそれをグローブが變奏曲をつけて編曲したものです
三、四重唱
第一テナー　陳玉明
第二テナー　陳拝培
第一ベース　李日旺
第二ベース　劉信淵
イ、鳩（文部省唱歌）
ポツポツポ　鳩ポツポ
豆がほしいかそらやるぞ
みんなでなかよくたべにこい
ポツポツポ　鳩ポツポ
豆がうまいかたべたなら
いちどにそろつてとんでゆけ
ロ、鐘が鳴る
ピエルネー作曲でソーヤー編曲、寛廣で歌はれます
四、ピアノ獨奏　陳玉明
ベートーヴェン作曲のソナタです。作品十四番の二番で長調の曲です
五、ヴァイオリン獨奏　陳津培
ムーアの作曲した「夏の名殘の薔薇」をファーマーが編曲したもので、此の曲は誰にもよく知られたものです

浪花節

續滿洲事變　【夜八時三十一分】（臺北）

野口一郎

昨晩の野口一郎師、今晩は續いて滿洲事變の續篇である

家庭料理献立

【午前十時十分】（臺北）

猪山嘉子

▲えびの天ぷら
車えび十尾、鶏卵少量、玉子二

童話劇「思ひ出」第二話

（五時から）BK コドモ・サークル

コドモのテキスト第二十ページ

これは九日に放送された第一話の續きです、ストーブに集つて思ひ出すことは
小學校卒業　うれしいナ　そら思ひ出すよ　お正月の音　としこしの豆　初午の太鼓　大さうじのほこり　そして十二月の唄のこと…今夜も　さあ僕達あたし達　なかよく　かたらうよなつかしい思ひ出草を。

曙光

(257)

生方敏郎作
中野修二畫

その青年（五）

暁はその後屢々脊田を訪問して來たが、來る前には必ずハガキで都合を問ひ合はせ、來る時には必ず何か氣の利いた土産物を持ち、世間のさまざまく興味あるニウスを報告し、脊田への何等かの用件をもたらし、そして、翌日はまた挨拶のハガキを送つた。
脊田から雜誌や新聞の材料を得たり、又は原稿を受取つた時は、必ず些少の謝禮をさへもして來た脊田は。
（近頃珍らしい殊勝な青年だ。）
とさへ思つて、澄江に彼を讃めることも屢々だつた。
月末に近く、郁子が勤務先きから月給を受け取ると、暁は彼女と同伴で、また脊田を訪ねて來た
「おかげ樣で妹も今月はじめて、月給といふものをいただきました。」
と、兄妹は口を揃へて脊田に挨拶して、その月給の一部を割いて買つたといふ、澄江への玩具やら菓子やらを持參した。
「こんなに貰つて、すまないね。」
と、脊田は、恭しく受取つて、禮をいつたが、それを見ても、澄江はただニッコリしただけだつた
「役所の仕事は、面白いですか？」
と、脊田は郁子への話題を探したが、何も他に思ひつかないので、こんな平凡な質問をした。
郁子は、つつましく膝へ兩手を乗せ、靜かに小聲で答へた。
「就職係りですから、面白いこともありませんが—いやでもございません。忙しく仕事してゐるうちに直ぐ退ける時間がまゐります。」
「そろばんは、お得意ですか？」
郁子は默つて、微笑して眼を自分の膝に落した。
郁子の物腰しが、一見して婀娜な娘であることを、脊田に感じさせた。
「日曜にはお役所は休みでせうから今度また日曜にいらつしやい。」
「ええ、お邪魔させていただきます。」
「こんどの日曜に、兄さんといらつしやいませんか？さうして、皆で一しよに郊外へ摘み草に行きませうよ。その時分には、土筆も出るし、せりも蒲公英もいいし、蕨だの探索だの野蒜だの、どつさり出ますから、家族的に一日の清遊を試みませうよ、ねえ、暁君の方の御都合は何うです？こんどの日曜に休暇が取れますか？」
「私の方？ええ、何時でも休めます。今から仕事に馬力をかけて、するだけのことさへして置けば私の方は休みは何時だつてとれますから、是非お伴させていただきませう。」
「たまには好いでせう。家族的に一日の清遊ですよ。」
丁度、そこへ澄江がドーナツだの水菓子だの持つて、茶の間から出て來た。
「郁子さん、いかが？暁さん、このドーナツ、家で揚げましたのよ。お宜しかつたら澤山召し上つて下さい、まだどつさりでございますから……」
「御馳走さま。遠慮なしに頂戴します。」
と、暁は早速一つつまんで。
「こりや、實にうまいですねえ。」
と大聲をあげて、澄江の手際を讃めた。そして。
「兄さん、こんどの日曜に皆さんと御一緒に摘み草に行かうといふ計畫が提出されてゐるんですが、御賛成下さいますか？」
と、訊いた。
澄江はニッコリして。
「さうねえ、結構ですわ。」
「御賛成下さいますか？」
と、暁はまた訊いた。
「ええ、賛成しますわ。」
すると、郁子は小聲で兄の耳元に何事かを私語いた。暁は。
「一日くらゐ休んだつていいだらう？他ぢやないんだもの。先生たちのお伴をするんだもの。」
「でも……」
「休めよ、休めよ、何だい？歓會なんか、すつぽかしちまへ。」
暁はしきりに妹に説いた。

◇萬なかだち◇
求職一件一回　其他一回　一行　名倍
店員入用　内地人十五六歳　本人來談　本町三丁目天地堂二〇九〇　城山食料品店
外交　に經驗ある者數名採用す　京町四四二　電話三三三番　富士商會部
女子會計係　内地人高女卒業程度　本人來談　西門市場前　高砂ビヤホール
電話三二〇〇六番　賣又は買　臺北電話二〇二〇番　庄倉
卓上及普通電話　讓渡の方は　電話四〇七六番
貸家　御成町四丁目　共用電話付　電話八三四番

逃すな此好期　掴め黄金
リヴリック鏡川賞金一萬圓券三百圓分　ナヒモフ號同様で配當千圓
東京市神田區仲町　冨士商會本部

募集
●特約販賣店●
良品化粧品ハカリ賣
時代に適した新らしい小賣店が僅かに拾圓からの小資本で出來る樣になりました
確實に利益を得る
營業案内は直ちに申込次第進呈
大阪市西區阿波座二番町　光洋堂化粧品量賣部

建築
廣告は一個の近道なり
臺北市京町三ノ八四　帝國建築協會

近時金々好評　赤の小粒
これからの生活には是非とも必須の仁丹　口腹料に消化を助けし

赤ら顔毛流　君が代
定價　東京　山吉商店

絶對に着色せぬ純良白葡萄酒
白玉ホワイトワイン
御内裡に白玉參る　即ちかかぎ

過飲
酒の過飲、悪醉、及び菓子の過食等に効ある
ミツワ制酸錠
●酒の過飲、酒の悪醉、菓子の過食、宿醉、胃酸過多症、急性胃加答兒、惡心、嘔吐、胃痛、吐瀉症等
他に　ミツワ健胃錠　ミツワ消化錠　ミツワ胃腸散　ミツワ胃腸錠　ミツワ止瀉錠
御申越次第進呈　ミツワ家庭藥(三十二方)を解説せる小冊子あり
ミツワ石鹸本舗　丸見屋商店

●ガオガン服めば頭ハツキリ齒痛も治る

大阪髙島屋出張大賣出
來る三月廿四日・廿五日・廿六日（三日間）
會場　臺北市驛前　鐵道ホテル
季節呉服・雜貨…本年の流行品を特價で御奉仕
大賣出しの内容詳細は…來る廿三日本紙朝刊に發表…
大阪　髙島屋

母乳代用品質第一
ラクトーゲン
出産と育兒
出産は育兒の出發點です、この大切な時期にもし母乳が不足するような事がありましたなら、親御樣の御心配は申すまでもなく、愛兒樣の不幸此上もない事で御座ゐます。
ラクトーゲンはかゝる場合母乳代用として愛兒を育てる爲に特製致しましたお乳であつて、他の何物にも優る優秀粉乳であります。
愛と育兒に眞劍であるお母樣、健康を重んずるお父樣へおすゝめ致します、ラクトーゲンの御使用によつて育兒の成功をかち得ます樣に……
新聞名記入ハガキにて申込の方へ見本進呈
御注意
御買求めの際他の不良な品と間違へぬ樣必ずラクトーゲンと御指定下さい。
藥店食料品店にあり
日之出子供哺乳器に就いて
右圖に示す乳瓶は多數小兒科專門醫師大家の御指導によつて製作した最新のものであつて世界中最も優秀な哺乳瓶であります。此乳瓶を用ひ尚ほラクトーゲンは無糖牛乳でも自由に正確に分量を決定する事が出來てお乳の與へ方が一目瞭然で正しい育兒が出來ます。
價格低廉　藥店に販賣す
販賣元

北支の時局重大で 滿洲國軍政部の決意
支那側から攻勢に出れば 自衛上必要な處置

【新京十五日發國通】北支の重大時局に付き滿洲國軍政部當局は左の如き決意を述べた
長城線を確保して動かざる日滿軍に支那側が攻勢的軍事行動乃至積極的策動政治工作に出れば滿洲國は自衛上必要な處置に出でざるを得ぬ、[illegible]支那は相和し世界に臨むべき迷夢醒めざれば已むを得ず

拂曉まで猛烈な反撃
敵の一團は殆ど全滅

【喜峰口十五日發聯合】長城を突破すべく押し寄せた敵兵は夜の更けると共にその數を増し、全面的に猛烈な攻撃を開始して來た前線部隊は長城より一歩も退かず奮戰中で、曉に至ると共に彼我の交戰益々激烈となり殷々たる銃聲は長城一帶の天地に轟[illegible]
【喜峰口十五日發聯合】今曉二時喜峰口東方陣地に宋哲元軍の精鋭三千猛襲し來り、米山先遣支隊は直ちにこれに猛烈なる反撃を加へつゝあるが、我が軍の砲撃頗る正確で敵の一團は全滅した

○○機も出動して 逆襲の敵を攻撃
敵は援軍と合せて二萬

【錦州十五日發國通】冷口西北方十五キロの牛欄山附近に集結せる敵軍は關內よりの援軍を合せ二萬となり、十五日朝より服部部隊に逆襲し來たので米山部隊は敵の後方に迂回するの陣形をとつてゐるが急報に接しわが飛行機○○機は今早朝出動し錦州呼應し午後四時に至るも激戰中である、敵は我軍の自重をこれ幸ひとして死物狂ひに冷口の陣地を奪はんとするものの如くである

彼我の距離は 僅か千米の近さ
敵が一たび發砲すれば 事態は關內に波及か

【冷口十五日發聯合】正午冷口關門に突撃して來た敵は我が部隊の猛烈な反撃を受け無數の死傷者を出して一旦退却したが我軍が關門を引き揚げるや敵は再び冷口部隊に迫り[illegible]再び敵の攻撃陣地となり彼我の距離は僅か千米に迫つて來た今や風の前の燈火[illegible]一觸即發の危機を示し敵一度發砲せんか事態の關內へ波及は避け難き所となつた
[illegible]退却したが敵は再び逆襲に轉じ死物狂ひの抵抗を[illegible]中である飛行隊は大吹雪で飛行困難のためやむなく歸來したが十六日朝を期し同方面に出動冷口附近より敵を掃蕩する筈

古北口附近の 我軍の損害

【新京十五日發國通】司令部發表 三月十日より十三日までの古北口附近の激戰におけるわが軍の損害左の如し

長瀨部隊 戰死 將校一名 兵四名 負傷 將校一名 兵十九名
田中部隊 戰死 將校二名 准士官一名
川原部隊 負傷 將校一名
百武部隊 戰死 將校三名 准士官一名 兵十七名 負傷 將校十四名 准士官一名 下士八名 兵五十八名
兵十名 負傷 將校三名 准士官一名 下士六名 兵三十三名
三宅部隊 戰死 兵三名 負傷 將校三名 下士三名

一兩日中に 戰局は重大化
敵は逆襲的氣勢

【冷口十五日發聯合】[illegible]冷口一帶の敵は[illegible]次第に兵力を增加し[illegible]一兩日の戰局は重大化して來た

威嚇手段か 鄭軍を飛線へ 追出すため

【山海關十五日發國通】十四日夕來石門寨東方地區一帶に亙り銃砲聲頻りに聞えて朝に至るも歇まないが右は支那正規軍が鄭桂林軍を戰線に追ひ出さんとして威嚇手段に出てゐるものと見らる

彈藥浪費 石門寨東方で 盛んに銃聲 申し譯けに

【山海關十五日發聯合】十四日夕來より石門寨東方地區一帶に銃砲聲[illegible]

界嶺口で 大激戰

【錦州十五日發國通】十四日夜服部部隊は界嶺口に向つた○○隊は十五日朝界嶺口附近で敵の大部隊と衝突し激戰三時間にして[illegible]

支那軍が日本軍に 勝つ見込みはない
學良、抗日の失敗を語る

【上海十四日發電通】張學良は午後三時佛租界宋子文邸で記者團に左の如く語つた
余は既に下野し單に一市民に過ぎず、政治を語るを欲せぬ、余は病氣と疲勞恢復次第歐洲に行くが明後日予は行先を定める、熱河喪失は慘敗たるもので余の北平滯在中既に二千の負傷兵後送され、全軍の死傷四千を超えよう、舊式裝備の支那軍は科學兵器を有する日本軍に對抗するは不可能だ、支那は日本に勝つ見込はない
と彼が過去にとつた抗日策の失敗を認め全く意氣沮喪してゐた

皇太后陛下 沼津に行啓

【東京十五日發電通】皇太后陛下には大正天皇御崩御以來五ヶ年に亙る御服喪を遊ばされ只管先帝の御冥福を祈らせられてゐたが、昨春の伊勢神宮、畝傍、桃山兩御陵御參拜の御後元も時局を慮召され御中止遊ばされた所、この程入江皇太后宮大夫の奏請を容れさせられ、三月末より約二ヶ月に亙り沼津御用邸に行啓御靜養遊ばされることになつた

東京市議戰 けふ一日
選擧違反續々發覺

【東京十五日發本社特電】既報十六日施行の東京市議選擧は後一日に迫つた百四十四の定員に對し大東京實現最初の東京市會議員戰は[illegible]候補者[illegible]百二十一、中立三十二、國民同盟十四、地方無產五、社[illegible]

東京奉天間の 航空郵便
八月から一晝夜で屆く

【東京十四日發電通】今夜東京で投函すれば明日の午後には奉天で[illegible]

銃彈を受けて苦しむ 船長を銃劍で刺殺
暴虐極まる福州稅關官吏

【基隆電話】既報去月二十六日午前八時福州海關監視船三十八トンを率ゐた[illegible]で對岸福州に向ひ、支那稅關監視船に拿捕され、船員一名射殺された基隆臺灣商行所有發動機船[illegible](四四トン八〇)乘組員八名については其後何の消息もなく、關係筋で
は非常に案じてゐた所、十五日午後旭町十ノ四七番地に[illegible]伊比非共八からたどたどしい手紙で大體左の意味の手紙が屆いて漸く當時の模樣が判明するとなつた
二月二十七日午前七時頃福州興化灣に入らうとする時、前方に支那監視船らしき發動機が走つてゐるのを認めたが、氣にもとめず午前九時半頃目的地の薬湾外に碇泊をしてゐる際、島蔭に隱れてゐた先刻の船が突然

飛出して

來た、その時初めて我々は發砲の監視船なることに氣がついた、同船は此方に向けて發砲、船長宮里三郎氏が帽子を振つて抵抗の意思なきことを傳へたにも拘らず小銃を亂射、一彈は遂に宮里船長の右肩を貫通した、監視船は我々の船に乘りつけ多數の役人が雪崩れ込み甲板で瀕死の苦しんでゐる宮里船長を踏みつけ

無殘にも

銃劍を持つて心臟部を突き刺し殺害した、斯くて我國の一隊は我々を拉して厦門附近の東山村沖合まで船と共に連行銃劍をつきつけて强制的に船長の死に際船命令を認めさせなかつたため打たれたのである との一札を我々に書かしめた、

これから先に行くと外に稅關では必ず船を沒收するだらうと罪不當にも船籍を沒收した上金三十圓を我々へ、これから先は

勝手に

しろと我々一同を東山村の山田分に引降した、我々一同は宮里船長の死骸を抱いて途方に暮れたが泣く泣く船長を埋葬した、船長の遺骸は持ち歸るため[illegible]を頼つて漸く厦門に辿りつくことが出來た、支那稅關の不法は實に言語道斷で、厦門領事館からも嚴重談判することになった

水上署

に見せた上臺灣から支那政府に交渉必ずや亡き船長の仇を討つやうに賴んで置きたい
因みに生殘つた乘組員の中支那人一名を除いた六名は二十二日基隆入港の廣東丸で歸る筈である

公娼も今後は 自由に外泊居住
內務省で改革案を研究

【東京十五日發電通】內務省では全國で五萬に達する公娼廢止の前提としてこの際畫期的な改革案を案を目下部で研究中であるが本案によれば公娼の外出の自由なるは勿論、その外泊居住の自由を認め指定地域內に住居を構へ數人位宛し貸座敷に通勤することも出來るやうになつてゐる、本案は警保局に理事の要もなく全く容易に實現を見るものと期待されてゐる

學閥抗爭に依る 學界空前の不祥事
岩崎助教授昇任を繞り 學生が六教授を糾彈

【金澤十五日發電通】金澤醫大では岩崎助教授の教授昇任問題に付き同校教授、服部、谷、上野、古屋、伊藤六教授が文部省に陳情を提出したるに對し學內の平和を害するものとして學生側は糾彈してゐたが十五日の卒業式に際り「六教授は總退を明かにせよ」と卒業生代表田中醫學士が演說した上卒業式に列席せぬと騷ぎ立てたので右六教授は退席し、同校は漸く卒業式を濟ませたが學閥抗爭に依る學界空前の不祥事と言はれてゐる

小林多喜二の 勞農大衆葬
警視廳が彈壓

【東京十五日發電通】日本プロ作家同盟書記長小林多喜二の勞農葬は十五日午前八時から築地小劇場で[illegible]警視廳は[illegible]に解散を命じ[illegible]

松竹爭議解決

【大阪十五日發電通】去る四日十二項の要求書を提出して爭議に入つた松竹[illegible]の爭議は[illegible]で圓滿解決を見た

線路の故障で 機關車橋下に顛落
機關手は即死助手は重傷

【嘉義電話】嘉義郡水上庄南靖附近製糖工場原料運搬列車が原料を滿載中十五日午後二時二十分同所中埔庄下六字土地公廟附近にさしかかつた際線路に故障があつた爲め機關車が橋下に顛落した、機關手小島卯之助(三)は手足を切斷され即死、運轉手の東石郡[illegible]は頭部その他重傷を負ひ嘉義醫院に入院加療中である、急報に接し嘉義郡警察課[illegible]田[illegible]法主任現場に出張目下取調べ中である

壽 金本 壹千萬圓 社長 川崎肇 帝國火災

熱河討伐の 映畫を公開
今夜新公園廣場で 本社主催の下に

皇軍の熱河討伐は僅かに十二日で世界戰史あつて以來未曾有の戰捷快速さを以て成し遂げられた一大記錄であるが、此の皇軍の有の戰の活動をフヰルムに收めた映畫二卷は逸早く本社の手に移入されたので社告の通り十六日午後七時から新公園廣場に於て公開するが皇軍の熱河討伐の出動から北票、朝陽、凌源、平泉より承德入城まで息もつかぬ神速飛行の行動が一々觀取される、右映畫の主な内容は次の如くである
熱河大討伐開始△鈴木○○の出動△朝陽城一番乘の早川部隊△朝陽入城△皇軍凌源に集結△○○部隊の冷口進撃△寒城市街占領△沿の平泉△熱下三十度に冷附に皇軍精鋭の進撃△皇軍承德に迫る△天險山峰より承德を望む△皇軍承德入城△日章旗城頭に翻り天地に轟く萬歲

臺北醫專 入學者

臺北醫學專門學校の本年度入學者は十五日左の通り發表された
▲醫試驗入學者 頼天佐、洪頂宗、張良輿、緒方正次、周朝欽、顏昭男、林宗弼、池ノ上泰、高橋丹後、小林國繁
▲試驗入學氏名 劉銘、侯突、周明哲、可任書、陳大成、川野寛、江治、岩下太生、小野信太郎、高敬文、中津川正二、佐々木孝治、許清耗、凌榮、陳劉辰耆、林國川、石川普正、安出朝清、安武成夫、小林正男、蔡國銘、阿部哲朗、濱口高夫、昭尾太郎、上原牛一、安谷屋正文、金城昭英、林思耶、林紅僊、游崇得、中西宏、白島胡水旺、黃延俊、許金六、劉陳棟、郭炳南木、佐藤信、森永望美夫、德重司、宮川一夕、陳龍一詹金泉、吳瑞乾、林鋼

臺北軟式野球 第二次戰成績

臺北軟式野球大會臺北代表決定試合の第二次戰は既報の通り十三日より連日午後四時より一中及び新公園野球場にて挙行されたが其の戰績は左の通りであつた
港校 1 A 1 0 ホテル(九回戰)
土木 12 A 8 鐵道
西市 3 A 1 1 臺醫
郵便 12 A 1 0 錦工
尙十六日は左の試合を擧行する

內臺間の 無線電話
試驗通話は 好成績

【東京電話十五日發本社特電】內臺間の無線電話は着々進行しつゝあるが昨日午後二時より新竹州山下受信所の普通通信試験を以て臺北の受信所に於て[illegible]部長と約三分間の談話を交換し[illegible]で大要左の如く語つた
本日あたりは電離の關係は餘りよくない[illegible]であるが七シモシと呼ぶ部長の音聲等もはつきり聞き取れ試驗通話として大成功で四月一日より實施する豫定ですが料金は一通話三分間八圓です、開通當初は週(月、水、金)曜日午後二時より試驗通話をやつてゐますが本日當りは殊も好成績でしたと云々

靜修女學校の 卒業式

臺北靜修女學校では二十二日午前九時半から同校講堂にて第十三回卒業式を擧行するが同日午前十一時より新卒業生の校友會入會式がある筈

大倉陶園の 作品展覽會
十六日から本社講堂で

昨年春話題にして美術的な日本陶磁の展覽會を催し好評を博した大倉陶園は其の第二回展覽會を十六日から二十二日まで本社講堂で開

大倉陶園作品展覽會
自三月十六日 至三月二十二日 毎日午前九時より午後五時迄 於臺灣日日新報社樓上
本邦唯一の高級美術陶器として佛、獨、丁、瑛の官評以上との定評ある作品

國際館 高田浩吉 尾上榮五郎主演 野球ローマンス 川崎弘子 情怨旅のてからし 最近の滿蒙 松竹ニュース

特別廣告 內科花柳病 臺北 山本醫院 ◇ヨコク◇ ジーキル博士とハイド氏 新世界館

利敵罪とは?

[illegible]大塚久三外四名と出務者島袋[illegible]に係る贈賄事件に對し國民同盟の[illegible]派一部有志は前記の者一同は利敵罪に該當すると主張してゐるが、此の利敵罪とは陸軍刑法中第二十八條 敵國を利する爲め左に記載したる行爲をなしたるものは死刑に處す の第五項に 兵器彈藥、糧食被服、其他軍用に供する物を缺乏せしむること
第二十九條 前二條に記載したる以外の方法を以て敵國に軍事上の利益を與へ又は帝國の軍事上の利益を害したるものは死刑又は無期若くは五年以上の懲役に處す
第三十一條 前六條(二十五、六、七、八、九、三十條)の未遂罪は之れを罰す
とあり、被告等は北各隊に食料等[illegible]るものと思はれるが、日本と支那は未だ宣戰布告をして居ないので支那を敵國と見なすは多少の疑惑がある、之れは國際法上の問題で學者間にも種々論議されて居るところで島袋一派の行動が果して利敵罪を構成するや否やは問題であるやうだ、又或る一方では寧ろ刑法第二章第八十二條の兵器、彈藥其他軍用に供するものを敵國に交付したるものは死刑又は無期懲役に處す
に該當しまいかと云つてゐる、何れにしても相當議論されて居る事件だけに其成行きは注視されて居る

大十一の三百の候補者は最後のゴール目がけて血みどろな戰鬪を演じてゐるが、肝腎の市民は底なし地獄の市會に愛想を盡かして笛吹けども踊らず一般に低調で昨夜開催される三百四五十ヶ所の演説會は何れもガラ空きである、この無関心な市民に翁人翁客となつた候補者運動者等は戶別訪問、選擧買收等の罪を犯し[illegible]に摘發されてゐるが更に悪性の選擧違反が發見する模樣あり之が摘發に努めてゐる警視廳では最後の一日を嚴重取締るべく[illegible]は管下各署と連絡をとり[illegible]違反檢擧に大活動を開始してゐる

配置されると云ふ航空郵便のスピードアツプが愈々八月から實施することとなつた、斯くて我國航空を世界のレベル迄に向上させやう[illegible]日本航空會社が遠近各地の航空を進めてゐたが、航空路各地の航空設備も大體八月までには大半完了して運航に乘出せる程度となり、飛行機も中島飛行機製作所に依賴し作製中の夜間飛行用ジユピター四百二十馬力發動機の中島式輸送用機も本月末に三臺完成し六月頃までには六臺全部完成するので四月初めより正式に夜間練習飛行を開始し八月末までには技術上の準備一切を終了させることになつたこれが實現の曉は東鮮の郵便物は一般夜內に屆くことになる譯である、尙この夜間飛行は當分郵便物のみを扱ひ旅客は取扱はぬ筈

昭和合成燃料 會社增資か

【新竹電話】新竹州竹東郡橫山庄に於ける昭和合成燃料株式會社の天然ガス瓦斯は目下機の組立工場の擴張等に取りかゝつてゐるが總督府の希望もあり近い將來の性質上小資本では困難な爲當初の資本金四十萬圓を二百萬圓に增加すると

北米に今度は大旋風
第一報は死者二十名

【ナツシユヴイル(テンネツシー州)十四日發電通】今夜テンネツシー州、ミゾリー州の西南部アーカンソー州東部地方に大旋風襲來し多大の損害を與へた模樣であるが、通信杜絶のため詳細不明であるが、第一報によると死者十二名、負傷百二十餘名と傳へられてゐる

死傷者數

【ナツシユヴイル十五日發電通】十四日夜半までに判明した大旋風の損害は死者二十三名、負傷二百五十名である

更に五箇の 死體を發掘
東京の貰ひ子殺し

【東京十五日發本社特電】稀代の貰ひ子殺し犯人川俣初太郎(三)に就き逮捕以來引續き取調べを進めてゐるが西郷山に崩した[illegible]の死體を遺棄した旨自白したので十五日午前八時より第二回の發掘を行つた結果正午までに更に五箇の死體が發掘された、附近警察當局の言に依ると更に八箇發掘される見込とのことで十二日發掘された十六箇と十五日の五箇の發掘の際に掘し入から發見された一箇と合せ二十二箇となつた

貴金屬を盜む

臺北市西門町一丁目四番地米商富太山氏宅二階居室へ十四日夜より十五日朝にかけて賊忍び入り腕時計、寶石等の貴金屬類千六百餘圓を竊取されたとの屆けがあつたので臺北署は清水刑事主任以下現場に急行取調べたが外部より賊が入つた形跡がなく富太山氏の四男富(二)が十五日朝より姿を晦ましてゐる點よりして同人の犯行と睨み目下其行方を嚴探中である

海軍少年航空兵の 長距離飛行
好成績に行はる

【土浦十五日發電通】霞ケ浦航空隊少年航空兵の第一回野外長距離飛行は快晴に惠まれ十四、十五兩日好成績に行はれた右少年兵は五月一日には愈々一等航空兵となり再び卒業飛行を爲した上パイロツトとしての折紙を付けられ夫々各隊付になることになつた

故奥田曹長の 葬儀
十七日屏東で

去る十日の陸軍記念日に臺北飛行場附近において名譽の死を遂げた故陸軍航空兵曹長從八位奥田四郎氏の葬儀は十七日午後一時卅分から屏東飛行聯隊にて佛式に依り營まれるので同聯隊から臺北在住所に於て臺北在郷將校兵有志に知らせてもらひたい旨依賴して來た

新公園にて [illegible]一中にて [illegible]

人造麝香の 原料調べ
渡邊博士渡臺

【神戸十五日發本社特電】明丸は定時出港したが[illegible]大阪市立工業研究所技師理學博士渡邊[illegible]高島屋出張販賣二十名等が乘客多し、渡邊博士は臺灣は初めてであるが主として製劑會社を見て來たいと思ふ、と云ふのは私の方で人造麝香を製造してゐるがこれが原料は臺灣から香料を取る時の副産物ですーゼル油であつて、これは從來外國から原料を仰いでゐるが此際臺灣の狀況をよく調べ自給自足が出來るか否かを確めたい

西市場の賣店 四月初め落成

【臺南電話】臺南市西市場內賣店の建築工事は過日上棟式を行つたが昨今の工程は豫定より進れて來る四月上旬落成し開店は同月下旬又は五月上旬となる模樣である

臺北州篤農家 懇談會

臺北州の篤農家懇談會は第一班六十五名は十五、十六兩日、第二班七十一名は十七、十八兩日士林農事試驗所にて開催さるることとなり初日は十五日正午から始め大園、武上各技師、島田所長ら出席、米、蔬菜等につき意見の交換をなし農事試驗所の一期作の視察と懇談をなし[illegible]に一泊し各種の意見交換を行つた、[illegible]購米は補付の時期が早ければ適當の植付[illegible]よいので農業試驗所では二月末までに全部の補付を終つた植付も定規植とし除草機も初めて使用した[illegible]が本島の農家ではまだ除草機などを使用してゐないので少なからぬ刺激を與へ各々今後除草機を使用しやうといふ希望者が非常に多數であつた

熾、黃瑞麟、川平昌輝、符倶全寶、小松玄二、黃木錠、阿久根徵、甲斐武比古、我部政德、吳中和、林永助、陳日新、郭上陽鄧金塔、儀山正明、渡田原正一(以上六十一名)

新竹州下の三陸震災 義捐金發送

【新竹電話】新竹州下三陸震災義捐金は[illegible]まとめ[illegible]二千[illegible]送付すると

臺南四ケ所の火事

【臺南電話】臺南州下に大火四つ[illegible]

本社工場參觀(十五日)

文山郡深坑公學校兒童百三十五名、安武郡[illegible]

三陸地方震災 義捐金

一金拾圓也 [illegible]
一金五圓也 [illegible]
[illegible]

漢文 臺灣日日新報

聯盟脫退後處理法文 各配付于樞府審查委員

十五日東京電。政府關聯盟脫退直後處理方法。自前項以來。展開廟議結果。隨附件委任統治所關件。決定方針如左。以聯盟脫退通告書御諮詢案附屬文書。配付樞府審查委員。

第一、帝國政府之聯盟脫退通告各種案件處理法所關件

帝國于聯盟總會及理事會地位。聯盟脫退之通告。基于聯盟規約第一條三項規定。須以二年滿了。故至此二年期間滿了。帝國于聯盟國有權利。且負擔其義務。因而聯盟總會及理事會雖可顏派代表出席。然此際爲避文理解釋。徒從來實際。右通告國。對聯盟後。一切政治的會議。有不派代表參加之慣例。右乃認爲政治上之當然者。

第二、帝國雖自聯盟脫退通告後。通告日二年間。依然保有聯盟國地位。乃規約第一條三項解釋上所明記。故至十二年期間滿了。有支拂聯盟經費分擔金義務。從之前例。(伯剌西爾脫退通告後。完納二年分々擔金又分擔額。)因以日計算慣例。帝國應支拂額。假令于昭和八年中通告則昭和八年。及昭和九年度分金額。昭和十年度分中。該當通告之日以日割計算。

第三、聯盟脫退通告後于聯盟事務局勤務日本人職員地位。聯盟職員。事務總長以理事會同意任命。而與聯盟國間。只爲雇傭關係。與其本國政府間。無何等直接關係。依聯盟國與非聯盟國。非有何等差異。現如非聯盟國人之美國人。爲聯盟職員。與他聯盟國人。以同等地位執務。又聯盟職員。各有一定任期。而任期中。有不能無理由而解任之權利(唯得爲自發辭職)。爲是本邦人職員。于帝國之脫退。其身分的地位不受何等影響(聯盟職員有若干)。因而帝國政府。關本邦人職員之進退。放任各人自由。不爲何等指示。但若有進而辭職時。極力講救濟之途。又現爲國際聯盟事務局員之日本人如左。

杉村陽太郎(特命全權公使、國際聯盟事務局次長、政治部長)原田健(外務事務官、政治部員)土田豐(情報部員)大內恒(警視廳防疫官、保健部員)加藤源三(內務省防疫官、新嘉坡常局次長)青木節一(聯盟情報部東京支局長)今城初子(政治部勤務)以外于東京支局勤務下級職員有數名。

帝國政府聯盟脫退通告後與聯盟各種專門機關協力所關件

帝國政府于聯盟脫退通告後。對一般的平和事業。執繼續參加方針。只緩和脫退通告之內外不安。其趣旨如左記。

一、如果脫退時。對其內外機微情勢。要慎重考慮對策。而對規定對商方針邁進。一面于希對彼其他歐美諸國關係。亦執公正態度。盡避不祥之發生。並于一般的平和事業。樹積以誠心參與。以資緩和因脫退之內外不安。然右趣旨爲使徹底于中外。則講就適切手段。

二、雖通告聯盟脫退。然元來帝國之脫退聯盟。非基于反對聯盟之主義精神。聯盟創始以來。熱心傾注努力之帝國。向聯盟各種專門機關協力。雖今後若干事情所許。則爲繼續。將帝國公明態度。俾徹底于中外爲得策。即如總會理事會。而派遣代表者。及對我既定方針遂行上有害機關。而派代表者出席。其他對平和事業。若無特別情勢之變化。依然派委員出席。與此等機關之事務上。繼續協力爲宜。又今後此等專門機關。派委員出席爲爲敦決。然所能若山場合於席。聯盟一旋。對我求諸請上之協力援助。則務爲援助。以示大國之襟度。爲鬱明。聯盟專門機關中。本邦人有以個人之資格爲委員參加者。對右委員。因政府不與何等指令。故委員之進退。任各人自由。

三、右諸委員會外。如與委任統治委員會。公衆衛生國際事務局。國際航空委員會。國際水路局。海峽委員會。交通協會。阿片中央委員會基于條約之規定。所設機關協力。聯盟脫退與否無關係。繼續爲當然。

四、來國際經濟財政會議參加所關。同會議主爲研究之目下世界經濟不況之救濟策。于本會議應審議財政經濟問題。于本邦不少利害關係。又備此種會議。有世界的性質。不獨聯盟國。即非聯盟國。亦決定招請。現如美國爲本會議準備。理事委員會亦出席。而帝國政府。于準備委員會。亦派河合公使。津島財務官出席。故雖聯盟脫退通告後。來本會議應爲參加。

督府地方長官會議 求各局提出議案 四月下旬警務部長會議

督府地方長官會議。按四、五月初旬開會。因求各局提出議案協議諸事。又按十八日齊集。然後決定會日。又四月末。再開警務部長會議。協議一般警察事務。及時局對策等云。

酒展覽會 廿五日起三天

專賣局。去十一日。集關係者山本酒課長以下係員。酒賣捌組合關係者。及趣味同人會關係者等。開懇商會。決定來二十五、六、七三日間開會。又出品點數。料必多數。會場豫定二ヶ所。第一會場。在臺日講堂。第二會場。在館前社。其他要項如左。

一、出品以趣味方面爲中心。販賣參考品陳列。

一、出品物。有由諸者。希以簡單之說明爲目錄一同送付。

一、由內地讓造元。應有洋器類及宣傳標札等送到。

一、寄贈品。

一、發行關于酒之短冊。

樞府定例本會議

十五日東京電。樞府仰聖上陛下御親臨。十五日午前十時。在宮中東溜間。開定例本會議。倉富。平沼正副議長以下各顧問官。政府一邊。齋藤首相。三土鐵相。小山法相以下關係官參列。將左記御諮詢案上程。無質疑採決。結果可決。同二十分。陛下于諸員最敬禮裡入御。即時散會。

一、鐵道省官制中改正件。

一、爲乘合之省營。鐵道大臣權限所關。現行官制中。按右監督所關規定。

外交方針不變 國民政府通告各國

十四日北平電。外交部長羅文幹。對英、美、法、其他各國通告。國民政府雖接收北平政權。而對日方針。無何等變更。唯從聯盟採擇報告書。

欲副國防獻金熱誠 藉固本島防備 設獻金處理委員會

島民國防獻金。購買飛行機。聽音機。無電々信等。軍部甚感激。其後獻金陸續續到。現已達一萬五千圓。然一般國防獻金。移管于陸軍省。於本島防衛計劃。然於是臺灣軍近將創立臺灣國防獻金處理委員會。委員長爲參謀長。委員爲各部長。高級參謀。高級副官。幹事門脇少佐。鹿籾西田副官。辦理事務。關臺灣國防獻金用途。經國防獻金處理委員會議。購入適當兵器。以副獻金者熱誠。現由軍部當局攻究中云。

基隆廣田氏 獻五千金

基隆市旭町臺灣水產販賣會社員廣田幸平氏。去十四日午前十時。偕松本道路港灣課長。訪軍司令部參謀長。提出五千圓。獻爲國防費。又新竹州竹東郡小公學校教員一同。欲充購入臺灣防空用重爆擊機費。獻金一千圓云。

第二高女 慰問學藝品

臺北第二高女。欲慰問滿洲兵隊。捐慰問學藝品。呈交軍司令部云。

水稻堆肥 褒賞式詳報

苗栗郡街庄聯合第四回水稻競作會。併堆肥製造競技會褒賞式。十四日午前十時。舉於苗栗街。定刻。式辭石渡會長池田郡守。式辭石渡技師審查經過報告。會長對出品人賞者。授與褒狀。併訓話。後宇佐美街長以下來賓。先後祝辭。受賞者總代答辭。出品點數併受賞者氏名如左。

水稻之部 出品水稻一期米某種。出品總點數二四二。照各街庄大字單位。按面積之多寡爲標準。而每甲出品一限面積五分審查。但個人賞。受一等者銅鑼庄三座厝賴榮春。二等苗栗街芒埔謝阿喜。銅鑼庄三座厝賴水生。三等同庄銅鑼李蓮福。劉雲琳。中心埔圖鼎發。四湖庄苗埔邱阿保。銅鑼庄中心埔劉阿連。苗栗街芒埔劉阿任。三等銅鑼庄三座厝新泉。頭屋庄外獅潭尚恩。四等苑裡庄山腳。山腳公學校外十九名。五等賞苑裡庄猫盂江阿柳外四十八名。

堆肥之部 堆肥出品者資格限定受州農會之補助堆肥舍所有者。總點數二四二。比前回出品增加十九點。但由兩回之豫選而除。僅將百零一點附諸審查。據客歲六月以後。約經四個月間。每戶農家之平均製造量。苗栗街二十一萬四千餘斤。頭屋庄五萬八千餘斤。公館庄九萬一千餘斤。銅鑼庄三十八萬九千餘斤。三叉庄十四萬五千餘斤。苑裡庄八萬六千餘斤。通霄庄九萬二千餘斤。四湖庄十三萬餘斤。總平均製造量。十六萬四千餘斤。個人賞。受一等者。銅鑼庄九湖日進相。二等賞同庄九湖陳阿接。苗栗街南勢坑李永成。銅鑼庄樟樹林吳阿水。三等賞三叉庄双草湖彭阿堂。外七名。四等賞四湖庄五湖李寢堯外十九名。五等賞頭屋庄頭屋范永寄外四十九名。

新竹高女 卒業式

新竹高女第六回卒業式。十五日午前十時。舉於同校講堂。定刻首唱國歌。次塚本校長奉讀勅語。女生齊唱勅語奉答歌。次塚本校長對本科卒業生八十一人。補習科三六人。(內中師範科三〇人家事科六人)授與卒業證書。併修業證書。內海知事。對優等生授與賞狀。乘山校長對皆勤精勤優等女生。授與賞品。校長告別辭。知事訓示。次來賓。保護者總代。先後祝辭。在學生總代。敘惜別辭。卒業生總代答辭後。齊唱師恩之歌。次由校長東道至於別室。觀覽卒業生。併修業生所製作裁縫手藝品。兼閱業習字等之成績云。

法國抗議 突擊隊活躍

十四日巴里電。法國政府對德國政府。關米因地帶德國國粹社會黨突擊隊之活躍。非公式喚起注意。

諸問委員會 開會

十四日發府電。日滿紛爭所關諮問委員會。決于十五日午後三時半開會。

舊式華軍難抗日軍 學良抗日失敗談

十四日上海電。張學良午後三時。在佛租界宋子文邸。對記者團語左。余既下野。不過爲一市民。不欲談政治。余欲療疾病及疲勞。回復後赴歐洲。待明後日于蘇至來滬。決定進路。熱河戰役之慘澹。余北平滯在中。既讓送二千負傷兵。全軍死傷過四千。舊式裝備中國軍。不能對抗有科學兵器之日本軍。中國雖望勝日本。自認過。抗日策之失敗。意氣全沮喪。

十五日樞府 續行審查

十五日東京電。對聯盟脫退御諮詢案。二上書記官長預行審查。至十三日終了。理由書及附屬文書。全部互二千餘頁之浩澣者。更有先審查之要。十四日午後二時半。在樞府事務所。求松田條約。谷亞細亞兩局長。全委法制局部長等參集。重行審查。午後四時散會。十五日午後一時半再續行。

本島人無賴漢 射殺邦人警官 隔夜被陸戰隊員擊斃

據去十五日入基隆港南華航路廣東丸所傳情報。去十一日夜。對岸廈門我領事館警察廈門分署勤務刑事係巡查部長野上近見氏。年三十七。忽爲本島無賴漢陳琰昌。年二十七。以拳銃射殺。查陳本爲無賴。昨年殺害中華人王某。潛歸廈門市內。匿在明生路十一號中華人陳某家。爲野上部長偵知。乃于同夜八時。率其部下郵巡查。往其房中搜查。發見陳正吸阿片。遂向前欲捕之。格鬪中。陳竟開銃發射三發。一中腹部。一中胸部。然後悠々下樓。步過兩巡查之前逃去。野上警部。急以人力車。載歸分署。至途中死亡。小川本警長及加藤分署長。接此急報。立請中華陸戰隊。中華公安隊應援。嚴張非常線。嚴查。迨隔夜之十三日午前十時。犯人陳在郊外後埔附近徘徊中。被中華陸戰隊員發見。互相開銃。竟被擊斃云。

臺北州下 裁高級者

臺北州最近人件費。生出赤字。於是今回欲整理老齡及高級者。現由三上文書課長。集辭表中。據聞整理數如左。小學校長及古參教論一、二名。公學校二十餘名。州廳及郡市一二名。其範圍頗廣。依此得一掃積弊。且開後進之路。又中興校長後任。現銓衡中云。

榮轉諸軍人 送別會

來十七八日頃。將發表陸軍大異動。本島因保清水參謀長。仁禮聯隊長。新井法務官。吉瀨獸醫部長。宮田守備隊副官。俱見榮轉。臺北官民有志發起。訂來十八日午後六時。假鐵道旅館。開諸氏送別會。會費五圓。希望出席者。至十七日正午。通知市役所秘書係。

釋放者保護 事業講演

北署友愛會。訂十六日午後七時在日新公。十七日十八日同上。二十四日午後七時。在太平公。各開釋放者保護事業講演會。又講演者爲山木法務課長。稻元內務部長。東刑事課長。檢察官。判官並郭會長。兼映寫活動寫眞云。

新莊水道起工 公會堂成

新莊街自前年御大典時。醵資建築公會堂。並計畫敷設水道。公會堂既于去冬着手建築。今經告竣。訂來十九日午前十時。在新公會堂內。舉行水道起工式。並御大典記念公會堂竣工式云。

沙鹿致化聯盟 部落振興會

大甲郡。敎化聯盟。各分擔區內。另組織部落振興會。冀圖敎化事業向上。去十三日。沙鹿第三區部落振興會成立。而傳集該部內有志。于午後七時。到庄役場樓上會議室。開座談會。平同八時。由郡手塚國語指導員。並佐藤小手川。時間三巡查立會。陳紫芳氏。起爲開會辭。次敎化委員楊基先氏敍禮。又次林助役。就會之組織根本精神。並趣旨。一一詳細說明。繼有手塚。小手川二氏之講話。畢審議會則。逐條照原案通過。及至希望事項發表。則有陳崑芳。王連中。王成春三氏。各起問陳意見。後由手塚指導員。激勵其對於會之根本精神並實行致養等言。至近十二時。告畢而散。而郡下各部落。先後均開是會云。

揮刀傷人跳落港中 被人以魚鏢刺之 各負重輕傷一名危篤

蘇澳庄南方澳。水產會社魚市場。去十四日午後一時三十分頃。突然發生傷害事件。據探其原因。蘇澳庄北方澳五十六番地陳新桂。年三十一。及同番地陳水定。年三十八。爲出漁中。放於海面。爲號之浮筒。被南方澳一番地金光丸船長楊海水取去三本。故去十四日午後一時頃。新桂及水定。欲向海水追討。海水答無。且置之度外。水定不得已。欲挽其共到水產會社內。請有經驗漁業法者判斷。海水竟不分黑白。揮其身藏銳利之刀。向水定新桂之頭部面部。亂刺亂斬。然後跳落港中。被新桂以魚鏢刺之。一時雙方各負重輕傷。人事不省。急扶入蘇澳高村醫院。應急治療。新桂海水。部血流不止。恐有致命之虞云。

討伐熱河 映畫公開

本十六日午後七時起。(雨天順延)。假新公園廣場。映寫熱河大討伐實況。本年度臺北陸軍記念日光景。其他宣活劇數卷影片。

主催臺灣日日新報社

高雄檢查學童身體 一人蛔蟲最多百餘尾 全市驅除一萬尾

高雄市衛生係。自前繼續對市內小公學校兒童檢查身體之健康狀態。其中罹病率最多者。爲寄生蟲病。結果。有如下記成績。一小二十成。二小三十成。中學四十成。而三公學校。各有九十成之蛔蟲保有者。其內第二公學校兒童七百八十名中。蛔蟲保有者有七百六十三名。驅除之蛔蟲約一萬尾。一人之保有蛔蟲。最多者爲百六十一尾云。

新莊敎育總會 敎育行事

新莊郡敎育會總會。去十三日午前九時半起。在新莊公學校講堂開會。先由柿原郡視學述開會辭。一同起立合唱國歌。繼由眞部郡守捧讀勅語。柿原視學報告六年度會務。眞室會長說明八年度豫算。並學事視察之報告。豫算各無異議。照原案可決。其後則有陳訓導。爲內地之視察談。及東條二重埔公學校長之滿洲視察談。眞室郡守訓示。旋移入講演。臺北高商敎官岩崎步兵少佐。對日清日俄兩戰爭。並滿洲事變。及三月十日陸軍紀念日所關諸事。演說一場。正午閉會。新莊郡敎育會八年度決定行事如左。

第一 修養。(一)講習會(二)講演會。

第二 研究調查。(一)校務研究會。(二)敎務研究會。(三)鄉土調查。(四)兒童文集刊行。(五)學事視察。(六)農業並學校園藝現地品評會。

第三 發表。(一)研究發表會。(二)聯合音樂會。(三)國語演習會。

第四 體育。(一)會員體育會。(二)會員登山會。(三)活動寫眞巡廻映寫。

第五 映畫敎育。

第六 集會。(一)總會。(二)役員會。

第七 其他。(一)共同苗圃。以上。

邦人代妻報復 痛毆妥給

臺南驛前酒場鳳來女招待兩名。去十四日下午二時許。行經西市場後。突有一惡漢。要之於途。將兩女扯住痛毆。而後逃去。兩女直卽前往報官。立將陳兩刑事究問中。旁人保元發南消防組員。住居西門町四丁目。福井鶴松。年三十七。原因聞兩女曾與其妻口角。福井欲代妻報復。乃出斯舉云。

費消七千餘金 父及保證人 賠補全額

嘉義郡番路庄會計役宋勝南。年三十三。橫領公金五千餘圓之費消案。嘉義警察課田尻司法主任。詳查實則有七千六百五十圓。費消於賭期米及嘉義市內各料理店。審查。遂將該金其父宋阿滿。將家私金器類賣資千餘圓。不足約六千圓。爲身元保證人同庄長劉潤。及同庄內張池成二氏。支出補償云。

果屬他殺 潛犯就捕 雲遊閣跌死案

前報在臺北市日新町二丁目席貸雲遊閣跌死之市內大橋町百六十二番地林添泉。年三十七。在臺北醫專。解剖結果。查明非自己過失跌死。北署乃于十四日夜總動員。召喚關係者訊問。判明爲被市內太平町一丁目六十九番地蔡九)所加害。卽去十三夜北驛苦力何茂(年二十)加害者何。宿在雲遊閣。及十四日午前二時。因泥醉之被害者林添泉叩其室。遂大怒。互二十分間。與林格鬪中。誤推林跌落樓下。爲是北署刑事係防犯係。乃偵緝何之去處。迨十四日午後十一時半。查知其潛伏在市內某處。立拘之到案。現正由山野警部補之手取調云。

鄉軍後援會 購買銃器

南投郡下人士。鑑於時勢遷移。一旦緩急。鄉軍手無寸鐵。何以防守地方。故擬贈銃器五十挺。服五十付。且築一銃器格納庫。俾鄉軍得以訓練。國家有事之秋。可藉爲干城。此以各街庄長爲後援會幹部。豐川豫算約須五千金。現將以準備一切。待州當局認可後。始欲着手募集寄附金云。

臺南州裁員 計三十名 下旬將發表

臺南州明年度人件費。感不足。本月中擬整理高級者。至屆期擬計三十名。而敎育方面。似維持現狀。擬本月下旬發表云。

大甲

招募園兒

大甲郡大甲街日曜學校幼稚園。新入生募集。定員五十名。五歲至七歲。照明期限至二十日。

各校卒業

大甲郡下大甲外埔大安各公小學校卒業式。大甲尋常小學校十六日。男子公十七日午前中。女子公十七日午後。十八日外埔公。十九日中庄公午前中。十九日大甲公午後。二十日頃大安公及日南公舉行。

興農總代

大甲郡興農倡和會大甲支部。於十四日午前十時。在大甲街役場開總代會。出席總代百數十名。辦理諸般事項並協議。至正午閉會。

壯團旅行

大甲郡下各地壯丁團員。去十三日。午前二時。由郡警察課警部補監督等引率。搭汽車往北上參拜神宮。前往臺北等地。見學旅行。一行二十七名。十五日回郡。

卒業式期

大甲郡沙鹿小公學校。于十五日卒業式。同小學校。以午前九時起舉行。公學校合公館。北勢坑二分教場。並庄國語講習所。於午後一時。全部合設舉行云。

斗六

工事近況

大甲溪鐵橋架設工事。既竣工。北勢坑二孔。遂擬于六月中。全部架上。惟剩洋灰鋪造之路面工事而已。按六月中工事可畢。

歡迎盛況

臺南州下警察官武道部劍道之斗六郡出場選手。因日常熱心練習。於柔道劍道俱得拔群之成績。其中柔道絕對的成就優勝。獲得優勝旗。去十四日午後五時二十九分之列車。由國長村田警察課長川本歸斗。會內務守。庶務課長。及街民有志等。到停車場歡迎。

礎商豫算

斗六郡柑橘組合。聯合會主催。去十四日午前十時。召集郡各街庄長助役等于郡會議室。礎商昭和八年度之豫算。至午後三時散會。

保甲會商

斗六街本保甲會。去十四日午前九時。開保甲會。

翰墨因緣

▲鹿港街在駐詩人。去二十五日午後四時。於興庄役場小集。赴會者有臺中吳小魯氏一行。共三十餘人。首唱擬題日庭小雅集。五律。魚韻。大唱佃租。七絕。宿題。得詩百餘首。錢昔小魯。太新。了奪。江西誠氏評選。至十二時揭發。分呈贈品而散。

▲朴子街朴雅吟社。

▲桃園新桃園吟社友。爲祝鄭永南氏赴屏東大會之勞。定十八日開洗塵會。先出宿題「洗塵」五言律東韻。限二首。開會之十八日朝。交與宴兵氏集錄。詞宗永南若川二氏也。

▲桃園吟社出陸永川楊秋並二氏題東。同於十八日之下午。假桃園信組樓上開例會。

▲桃園郡大廟口直陪壯丁團。創立以過。本年會員五十餘名組成。九日午後一時。在同街黃國和氏。舉設會式。併開總會。選新氏報告。爲捐寨滿洲出征軍慰問費。並三陸災黎救恤金。十五日起十五日間。聘明星影片公司所屬之活街員。於桃園座。開映中國活劇。

瀛社擊鉢錄

班超投筆 七絕一東

左 實翔 右 鶴餘 選

右花自 新

抱著生花不足雄。慨然投筆事從戎。志安社稷干戈定。萬里封侯建偉功。

左臚 霞 雲

略韜終古識英雄。壯士心胸感不窮。多少儒才難得效。毛錐今竟廢塵中。

右臚 子楨

文章報國亦英雄。不及沙場建偉功。蔥嶺蒼茫來冷甚。奇謀一出有奔風。

右五 蓮 監

詩壇

如國土風。博得封侯稱名士。如祿拋去顧成功。廿年辛苦老元戎。

左六振 傳

遠征絕塞立奇功。我亦乾坤思一振。欲從戎。僅投筆。右六 子 淸

欲安社稷早從戎。等班超。文氣吐虹。一腰雄。筴勛何必事雕蟲。

左七 神 毅

小楷君 挺氣何雄。筆墨勤發憤心。靖問漢朝刀筆吏。封侯幾輩與論功。

哀陌筑客先生 張一泓

忽々睽違兩載餘。遠傳竹塹噩傳車。相期一笑街坊上。昨夜春燈尚未除。

卜居 岩 瀬 效 富

卜築鳩溪畔。桃香滿小齋。老來何所似。野鶴與閒雲。敬和岩瀨先生卜居 林 時 香

高臥林泉下。乏酬應經文。知天憐我少。見孫兒孫。賦此志喜 楊 爾 材

生慈兒一索孫。兒孫朝光忘嗣呼。明早又新名。熊罷兆。辨香稱慶慰。

老閒。遐期育長。聲來門。命名。未敢冀。防狹廬。勸兼存。

會事

▲大甲郡下沙鹿庄長業組合議會。于十六日。欲開於庄役場。

銀塊行情 十五日

倫敦現物 一七片一六分一

同 先物 一七片四分三

英美匯水 十五日

大連現物 一〇〇圓二〇錢

同 先物 一〇〇圓三〇錢

對外匯水 十五日

倫敦電信賣 一志二片八分三

紐育 二一四

香港 七九

新嘉坡 一九五

爪哇 五〇圓二分

馬尼剌 二四五

上海 一〇〇

廣告

高產婦人科醫院

皮膚病黴專門(醫院) 醫學士 大栗

好評判的醬油最上京印

發賣元 辰馬商會

熱河討伐從軍記

北票より朝陽まで

小濱特派員・手記

匪賊の挑戰日につつのり　建國祭日を期し　正義の旗幟　日の丸熱河に進む

滿を持して放たなかつた熱河攻略の時は來た、[illegible]集する暴戻の敵は正に二十萬、日と共に戰備を整へ北票驛を爆破して日本軍の遊撃を斷ち、挑戰的行動は一月十八、九日來極めて露骨となつた、玆に於て隱忍し得べからざる我滿洲部隊は憤然として目前の敵を攻撃すべく[illegible]すべく正義の刃を[illegible]の視線を集めながら[illegible]つた、日滿軍の討伐は二十一日拂曉を期して北票に火蓋を切つたのだ、我軍の隊士は命令一下猛然と躍かる北票線の敵中へ猛進したのだ——余（小濱特派員）は[illegible]危險を犯して[illegible]

意外！先天より精氣漲の高い北票部隊と共に前進した！[illegible]北票に足を入るれば吹雪を交えて膚を噛む氣溫は零下三十二度に下つてゐる、[illegible]余は木ッ（二月二十一日）完全に裝服さへも手に取れない位寒に顫へつつ[illegible]熱河討伐のプロローグである北票入城[illegible]

だが戰禍は幸ひにして[illegible]依賴するを得る好機會を捕へた、[illegible]常に四時間半で通ずる此北票線が[illegible]○○○○の[illegible]ために十三、四時間はかかるのだ、その上、錦州から奉天へ八時間のところを、二十時間かかるといふのだから零下三十度の寒さに顫へつつ書き上げる者には聞いただけでも泣きたくなる、熱河討伐はこれ程に苦難な裡に續けられてゐることは此一事によつて察せられやう、本稿が着驛を得て錦州に到着する頃余は先遣隊と共に山又山の險路に雪を踏んで前進してゐる頃であらう

勇壯！果敢！　十五名編隊の單車隊　匪賊千餘の北票を占據

今回の北票の占據は鐵路による熱河攻略のプロローグであり、占據隊たる兒玉大尉指揮の千葉○○隊こそはその前奏曲の殊勳者であり北票入り一番乘りの殊勳者である、然して北票占據の殊勳者は實に次の如き僅かに十五名の勇士であつたらうとは誰が想像し得やう

隊長　兒玉袈光大尉
第二裝甲車長　水間多喜郎中尉
工兵軍曹　小淵信太郎
伍長勤務上等兵　野本直藏
同　黑畑勇一
同　金子孝三郎
同　齋野直治
同　河野俊夫
一等兵　山内喜三郎
同　下郷良
同　佐藤直養
同　土木忠治
同　牛澤要八
同　山野井巖

余（小濱記者）は兒玉○隊の占據直後即ち二月二十二日午前九時二十分北票驛より裝甲のモーターカーに便乘して驛地に入つた、他の新聞記者として最初の一歩を力強く踏みしめる喜びと感激に浸りつつ吹雪荒れ狂ふ酷寒の北票街に乘込めば既に鐵道守備隊が出來て石井部隊[illegible]が立哨してゐる、住民が手に手に急造の滿洲國旗を持つて出迎へに出てゐる、現金なものでついさき程までは支那軍のために働いてゐたであらうところの巡警までが吹雪もいとはず日の丸の旗と滿洲國旗を兩手に持つて吾々の樣な非カーキ色にまで日[illegible]

鈴木○團長妙法寺視察（朝陽）

間一髮！　脫線器を抱へて單車を飛び出し　小淵軍曹危機を救ふ

三月位の長い間一千餘の支那軍に包圍されつつもなほよく最後迄頑張り通したといふ北票驛員の眞くそばにそそり立つて、地色鮮やかな國旗をへんぽんと零下三十度の寒風に靡かせてゐる、記者はその足で直ぐ近くに[illegible]ある兒玉○隊を訪ひ、兒玉大尉より當時の戰況を聽いた

[illegible]が○隊は錦州に待機してゐたが、二十日朝に熱河攻撃の第一線徒歩部隊を掩護して錦朝線を北上すべき命に接したので第一裝甲單車、同修理班、第二裝甲單車、同修理班にて一隊を編成して途中修理されてゐる箇所を修理しながら北上したのである、しかし何分零下三十度を超える寒氣である、單車の機關部が凍解するので盛んに[illegible]を代へて二十一日朝五時五十分頃騎兵寺を發つて前進に向ひ、そして午後一時に愈々第一線の警備線を突破して北票に向つたのである、口北營に、騎兵營子の彼方堅固なる陣地を修理して馬山口の驛に近づいたところ突如前面の上から發砲を受けた、何でみると約七十名くらゐの土民軍が一齊に吾が單車を目がけて小銃を發射してゐる「小癪な奴だ、やつつけろ」とそいつを三十分ばかりで追つ拂つて午後三時二十分に北票驛の信號所附近まで進入したのである、驛から覗いてみると支那軍は支那家屋の中から發砲してゐる、約三十名ばかりの者は線路の上に腹這ひになつて發砲してゐるがその服裝はワン章こそないが滿洲國陸軍の水色の正服をきてゐるので一寸迷つた、忽ちこちらからも機關銃で盛んに應戰したが、そのうちに機關車が盛んに煙を吐いて動き出して、見る〳〵うちに吾

が單車を目覺けて驀進してくる、その瞬間！[illegible]

西○團長の朝陽入城

[illegible]單車隊長を呼び出して「支那兵の奴らに突き當るのだなア」と直感したその刹那である、いきなり小淵軍曹が脫線器を抱へて飛び出すと線路に脫線器を[illegible]して車内に戻り[illegible]から射撃をはじめたが、一二發的つたと思つたとき「やられた」といつて車内に轉び込んだ、[illegible]軍曹をやられたのだ、敵は約一千名、わが單車は僅かに十五名のみである、そのうちに單車に故障を起して往生つたので止むなく小淵軍曹を介抱し乍ら後退して口北營にまで引き返し[illegible]二十二日朝八時再び單車で北票に入つたがそのときはもう敵は[illegible]方面に總退却して何等の抵抗も受けず、[illegible]單車で疾風のやうに飛び込んだのには逃にビックリしたらしいと語つて大尉は當時の[illegible]

敗けては内地に歸らぬ　おお、皇軍の此の意氣

また勇しく戰鬪に参加して北票驛突入の殊勳者の一人である野本上等兵（伍長勤務）は語る

[illegible]驛に突進したときですが、支那兵の奴ら盛んに發砲するので彈が單車の鐵板に當つてはね返る、[illegible]を射るやうにペチペチと聞えます、小淵軍曹殿がやられたときはそのときでした、で小淵軍曹殿に「俺に構はず射撃しろ」といはれたので私が代つて射撃をつづけました、支那兵に敗けては内地に歸れません。支那兵も仲々頑強ですが浮腰になつたらもうしめたもので、一度にドッと逃げ出すですよ、北[illegible]

熱河の蒼空を裂く　砲火！爆撃！！　地の利を賴む敵兵を掃蕩　邊防軍第一線朝陽を占據

熱河邊防軍の第一線である朝陽の攻撃は敵が既に逃げ腰でゐた爲め戰鬪らしい戰鬪を行はずして占據して[illegible]西○團長は二月二十七日幕僚を隨へて步武堂々入城○團司令部を前進せしめたが、[illegible]二十四日の敵の迎撃振りはわが熱河討伐に於ける抵抗としてはいままでのうちの白眉である。予は幸ひにして[illegible]攻撃に從軍して[illegible]この戰鬪に[illegible]

[illegible]早川枝隊は二十三日を[illegible]して[illegible]の根據地を發した、そして沙漠の[illegible]を踏んで行軍すること六時間[illegible]正面に現はれることとなるので[illegible]中枝隊及び騎兵、砲兵隊と連絡を執りつつ漸次朝陽の包圍線を縮めて行つたのである、果然！[illegible]正規軍約一千と蜂牛營子の南方高地に於て衝突した、敵は大凌河の右岸に沿うて前進する早川枝隊に對して左方約二千米の[illegible]から猛烈なる十字火をまで浴つた、枝隊は直ちに田中部隊と協力[illegible]いて之に應戰した、彼我の砲火は[illegible]つた熱河の蒼空を裂き[illegible]して飛び交ひ頭上に炸裂する、敵

はわが部隊を斜に見下す地形に據つて旺んに追擊砲彈を送る[illegible]ことであり[illegible]正確である、[illegible]小銃彈がかすめる、[illegible]烈する、壯烈な野戰だ、[illegible]せる前方二[illegible]の歩兵部隊の傍らに[illegible]が落下して[illegible]兵四名は[illegible]

一機飛來して約二千米の上空を[illegible]かな友軍の翼[illegible]爆音勇しく日の丸鮮や[illegible]

「味方の飛行機だ」[illegible]

だが機は地上部隊の期待を[illegible]つて味方の陣地の上空ばかりを[illegible]で飛び去つて[illegible]なく現はれた一機は[illegible]して物凄い投彈爆擊を敢行する、敵陣地に次々と白煙が揚がつたこのころから敵は退卻を[illegible]して「水溝口」西北方及び「石門子溝」南方の既設陣地まで後退したがここでもなほ頑強な抵抗をつづける、支那兵には珍らしい頑張りだ、[illegible]このとき戰線に到着した鈴木○團長は[illegible]陣を[illegible]めて「まるで演習のやうだネ」と副官を顧みて微笑をたたへる、しかし日の沒り[illegible]

[illegible]のわが兵士[illegible]を見ては[illegible]つて掩護物に避難することは出來ない、予は[illegible]に前進して、敵の掩護に[illegible]隊と共に[illegible]り込んだ[illegible]二十餘の死體を遺棄した[illegible]方面に潰走した、早川枝隊は朝陽を距る四里の「東北營子」に[illegible]揚げ、[illegible]の手當を[illegible]に野營した[illegible]、明くれば[illegible]十五日である、鈴木○團長は[illegible]の敵の[illegible]抵抗せる[illegible]を[illegible]、松田○隊長の[illegible]を[illegible]に加へて堂々の正攻法で朝陽日差して三才から前進した、[illegible]ころが敵は[illegible]にして[illegible]に[illegible]約千五百米の地點に[illegible]

又朝陽東方桃花吐附近より大凌河右岸の高地にかけて散兵壕を構築してあることは飛行[illegible]にて[illegible]承知して居つたけれども其東方にも工事のあることは知らなかつた[illegible]

[illegible]部隊の[illegible]の[illegible]は全く[illegible]、さらにも[illegible]のでもあるべく[illegible]、さらに[illegible]

わが飛行機がさかんに爆擊と[illegible]那兵だけの事はある

[illegible]

[illegible]ウリヨウたるラツパを吹奏しつつ[illegible]鳴朝陽の[illegible]に午後一時半[illegible]く日章旗は[illegible]翩へつた[illegible]

陣中にあつて此の閑日月　朝陽占領まで　鈴木○團長の手記

熱河省は滿洲國の一部にして之が治安維持は當然我軍の盡すべき責任である、北票の如きは一日遲ければ一日だけ熱河省民を塗炭の苦より救ひ滿洲國の王化に浴せしむることが出來ることは申す迄もないところである

皇軍が熱河の討伐を爲すべしとの噂は既に傳へられたところではあるが何時の時機に行ふかは絕對の祕密であつて[illegible]つてゐたが前進すべき方面に對する直接細密なる偵察等は充分實施するの時日のなかつたことは實行部隊の吾々としては今だに遺憾に堪へて居る、日本軍が北票及び熱河を攻撃すると言ふことは企圖祕匿に充分注意を拂つたに拘らず敵は早くも之を察知し其時期を二月十四日（紀元節）と爲したものの如くである、我企圖が漏れると言ふことは甚だ面白くない現象であるけれども種々の事象から之を察知することが出來るのみならず彼等は諜報の上に大なる便利を有することは我軍の比でないことも從來の經驗によつて知ることが出來るのである、予は先遣隊を指揮して先づ北票鐵道を爲し得る限り敵に破壞されない樣に占領し次で朝陽の敵を攻擊し同地を占領して○團主力の來着を待つべき任務を受けたのであるが、此任務達成の爲に必要としたことは前述の如く我企圖の一部が既に敵に察知せられありしのみならず鐵道輸送の關係で豫定の出動時日を更に數日延期したため之に奇襲を加へることの困難であることは言ふまでもないのである、敵に鐵道を破壞せられない樣に之を占領し得るや否やは當時の[illegible]とした所であつて、若し口北營子附近の鐵道橋又は南嶺附近の隧道が破壞されたならば爾後軍の作戰に大なる支障を來すのであるから[illegible]したのである、然るに二十日には口北營子方面に偵察を出し[illegible]報告によれば南嶺停車場の給水塔を破壞したとのことであるから更らに時日を遷延するときは益々破壞の度を大ならしむる恐れがあるので成るべく速かに之を占領することの緊要なるを知り、十三日拂曉を期して南嶺及び口北營子の敵を奇襲し次で北票を占領し以て出來るだけ敵をして破壞の餘裕を與へない樣にしたのである、此奇襲には早川部隊をして當らしめたのであるが鐵道輸送が遲れたので大いに心配したが同部隊の努力によつて殆ど新しき破壞を見ずして完全に之を占領し得たことは天佑と云つてもよいと思ふのである、口北營子の攻擊に於ては敵の遺棄屍體[illegible]名を出し我に戰死一[illegible]

ラマ寺を撮す鈴木○團長

[illegible]列車は何れも夜に入り特に[illegible]れたる部隊は夜半を過ぐる有樣で然も新年兵は行軍に不慣れなるため一層の困苦を嘗めたる樣である が各隊ともに志氣の旺盛は此困難に打克ちて大なる支障なく前進することを得たるは[illegible]であると認めらる、[illegible]の敵兵は合計七、八百位にして南嶺及び口北營子に於ては大部[illegible]を受けたるもの如く何れも朝陽方面に退卻した模樣である

◇

朝陽には董福亭の司令部と步騎兵約三千あり

したことは誠に申譯のない次第である 先遣隊の主力は[illegible]寺附近に下車し又早川部隊は北票に向ひ前進する筈であつたが[illegible]輸送力不足の爲に一半は錦州から[illegible]め又一部は義州に下車して徒步行軍をなさしめ[illegible]を經て朝陽に向はしめたのである が二十四日は風雪甚だしく氣溫は低下し唯さへ困難なる行軍に加へて道路極めて不良にして然も[illegible]距離と[illegible]ありて各隊の第一日[illegible]及び第二日蜂牛營子附近に[illegible]

部隊は大凌河右岸[illegible]は左岸[illegible]の[illegible]を[illegible]る西家子、石門子溝[illegible]たが[illegible]には敵兵[illegible]を[illegible]して之に[illegible]で[illegible]部隊[illegible]に[illegible]加して之を[illegible]したが初めは中々頑強で[illegible]線の陣地に據りて容易に退卻せず夜になつて漸く[illegible]出するを[illegible]は[illegible]早川部隊は[illegible]に[illegible]名を生じたので[illegible]であつたことが[illegible]て[illegible]にも[illegible]する予は自動車にて多大の[illegible]

然るに二十四日○兵隊は午前八時牛[illegible]營子南方地區に[illegible]之を切に[illegible]して居つたのである を[illegible]せしめ[illegible]成武を知らしめ[illegible]大なる[illegible]は[illegible]

[illegible]田部隊を[illegible]したのである、[illegible]

[illegible]中[illegible]二十四日午前十時[illegible]は湯玉麟省長となつて以來苛斂誅求に軍隊を徵發によつて人民は非常なる苦境に陷り生業に就くを得ないもの多く爲に速に日本軍の來りて救はれんことを希ひ居たりと稱し[illegible]で滿洲國成立の由來と日本軍の來たりし所以を詳に說明し[illegible]下に[illegible]正にて[illegible]せしめ安心して生業に[illegible]各地方往[illegible]として[illegible]皇軍の威光を[illegible]めたのである（二月二十五日朝陽占領の夜）

然して事實に見よ

熱河危機を孕むの頃

支那紙に發表された 熱河戰の豫測

軍事作家黃震遐氏執筆

◇上海本社特置員　日高生

支那の軍事專門家又は軍事作家は今次の熱河戰をどう觀てゐたか—は一寸興味が深い。先に上海事變を主題とした小說「上海の烈火」を書いて文字通り一世の紙價を高からしめた支那の平田晉策とでもいはれる支那唯一の軍事作家黃震遐氏は[illegible]二十七日大晩報紙上に熱河戰の豫測を發表し[illegible]にその全文を紹介する[illegible]

生ぬるい情勢を經て、廣大熱地の熱河大會戰は今や目前に展開されんとしてゐる。熱河戰の重大性に就いては最早支那全國民は誰一人知らないものはあるまい。日本帝國のアルチメイタムが正式に中華民國に反駁せられた後、來るべきものは已に確定的である、戰爭は政略上の決裂の後に引ついて起るものは軍事行動即ち動員である。この時こそ國家の全機能が平時狀態より戰時狀態に入るのである。一國の平時に於ける學理上の國防計畫では最大の戰略的地圖より最少の食糧一粒に至るまで、國防にピンと緊張して[illegible]備されるものだ。平時各方面を通して何等準備なき支那に於いては、かくの如き科學的大移動は丸で問題にならない。尤も敵も支那の基礎的情勢の判斷に缺けてゐる所も少くない。日本の「皇軍」は恐らく精鋭無比を自負し、今日に至るまで日本の參謀本部では「日本兵一名が支那兵五名に當る」[illegible]とする因習觀念に迷はされてゐるのだ、が一方太平洋上には米國の大艦隊があり、シベリヤ國境線外には赤色陸軍の[illegible]の威嚇がある、日本帝國の「皇軍」の決定的大會戰は未だその機が熟してないのだ、日本の參謀本部の賢明な將軍は皇軍の精鋭を熱河の野に犧牲にしやうなどとは毛頭考へてゐない

にまで發展しなかつた。滿洲でも最大限度僅かに師團と師團の作戰であつた。しかし今回は荀くも正式會戰の可能性があり精神的にも物質的にも恐るべき結果を招くに違ひない。而もこの形式の恐るべき結果は支那が未だ曾て經驗した事のない程ヒドイものであらう

[illegible]ける支那隨一の軍事作家黃震遐氏の豫測は完全に破れて仕舞つた。同文が發表された同大晩報紙面には[illegible]が陥落して熱河[illegible]が危急を告げ、凌源又危しとの報を揭げねばならぬ破目になつたのである。黃氏が如何に日本軍強しと雖も[illegible]に入るに違ひないと斷じた赤峰、建平、凌源は皇軍[illegible]の前に脆くも陥落してしまつた。恐らく本文が[illegible]の前に現はれる頃には皇軍は承德を占領し、今や[illegible]三月十日の陸軍記念日の[illegible]揭げられてゐることであらう。しかしそれは黃震遐氏の[illegible]では決してなく、皇軍が世界一般の軍事常識では判斷出來ない程それほど精鋭無比であつたからである。[illegible]を觀察した米國武官でさへ、日本軍も[illegible]以上に苦戰の外なからう、天嶮の要害に新式兵器の完成した支那軍を撃破することは不可能なることを[illegible]もつて余が保障すると言つて支那軍將兵を激勵したではないか。今や黃震遐氏も米國武官も均しく日本軍の強さに畏怖驚嘆の目を睜つてゐるに違ひない。吾々日本人たる我々も又誇りではなかつたか。[illegible]黃震遐氏の「熱河戰豫測」を[illegible]の前に[illegible]しやう

日本の作戰準備

十八ケ月に亙る「不生不死」の[illegible]

その故に、日本は支那に正式宣戰を布告するにしても消極的なる行動をとるであらう。支那攻略に使用する兵力も最大限陸軍三十萬人、海軍十五萬噸を超過せしめないに相違ない。その他は國内にたくはへ、將來の日露戰又は日米大戰に備へて置くであらう。從つて日本は對支戰に當つてはその最精鋭兵器の最大限を發揮して動員し、到る處で猛威を揮はしめ兵力の不足を補足せんとの作戰に出るものと觀はれる。果して然りとせば支那はたとへ[illegible](國家全機能の)崩壊に瀕したとするも一切を犧牲にして、近代兵器の重壓下に[illegible]奮闘する外はないのである

◇

戰線擴大の可能性

[illegible]

日本陸軍の活動豫測

[illegible]

戰鬪初期の情勢

[illegible]

(二)支那軍兵力

[illegible]

(三)敵軍の素質

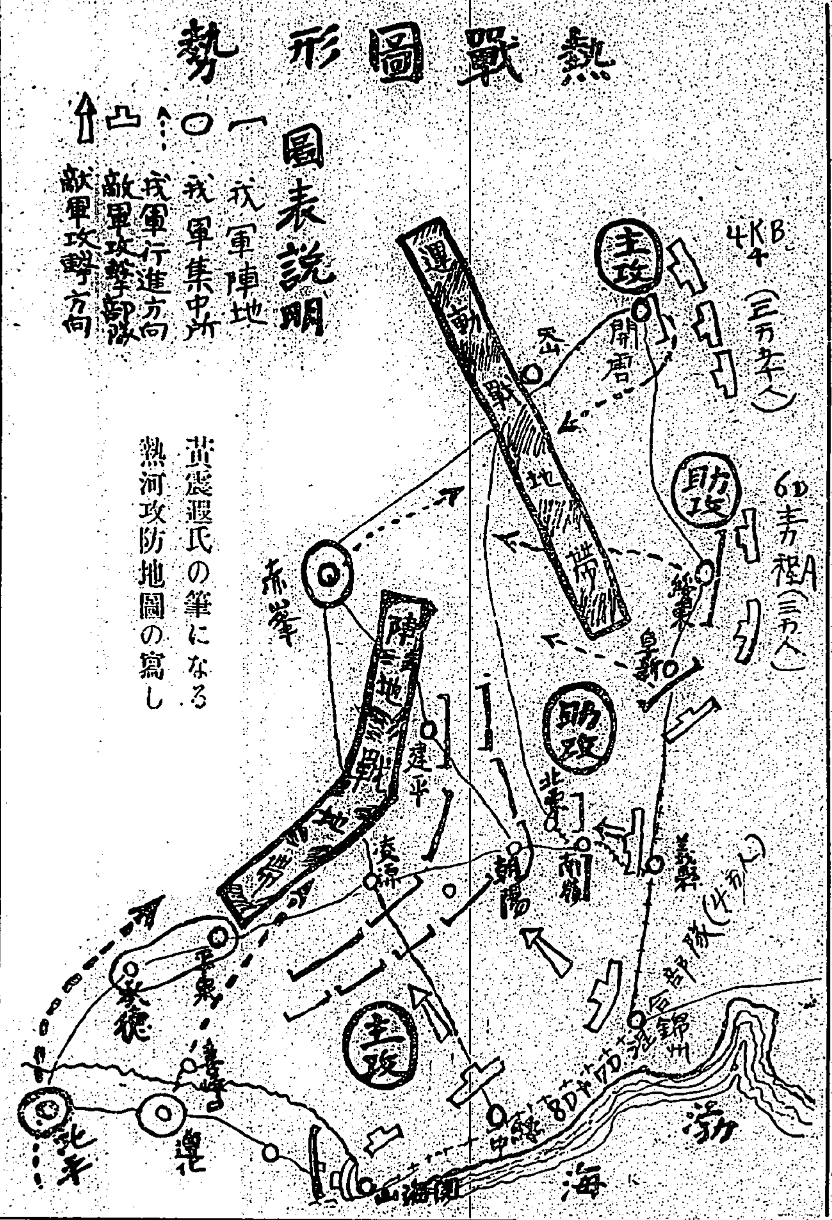
[illegible]

(四)我軍の素質

[illegible]

戰線擴大後の情勢

[illegible]



黃震遐氏の筆になる熱河攻防地圖の寫し

日支兩軍優劣比較

(一)敵軍の兵力は

[illegible]

大會戰最後の趨勢

[illegible]

三ケ月後は支那斷然有利

[illegible]

海軍の活動

[illegible]

世界の心と日本の姿

鶴見祐輔

昔ドイツの詩人ゲーテは言つた[illegible]

併しその[illegible]

簡單にの[illegible]

多くの天[illegible]

ここでは[illegible]

アメリカ[illegible]

さて今や[illegible]

小學教員の赤化防止

議會に論ぜらる

[illegible]

日滿を血で結べ

日滿婦人協會の誕生

[illegible]日滿婦人協會が組織されることとなつた。[illegible]

人間の眞[illegible]

それから[illegible]

美しいフ[illegible]